

令和4年度
事業部門事業計画書



社会福祉法人

池上長寿園

IKEGAMI CHOJUEN

目次

I	令和4年度事業部門事業計画	1
1	羽田・糀谷事業部門	2
2	池上事業部門	4
3	大森事業部門	6
4	蒲田事業部門	7
5	たまがわ事業部門	9

※事業部門毎の計画書の計画項目は以下のとおり

計画項目
(1)法人理念
(2)令和4年度 社会福祉法人池上長寿園 基本方針
(3)令和4年度事業方針
(4)基本方針
①リスク管理
②生産性の向上
③地域貢献
(5)予算概要 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載
(6)CHALLENGE計画 ※大森事業部門除く

II	令和4年度事業所事業計画	11
1	羽田・糀谷事業部門	11
1-1	特別養護老人ホーム羽田 事業計画	11
1-2	羽田高齢者在宅サービスセンター 事業計画	17
1-3	大田区立特別養護老人ホーム糀谷 事業計画	19
1-4	大田区立糀谷高齢者在宅サービスセンター 事業計画	24
1-5	大田区地域包括支援センター羽田 事業計画	26
1-6	大田区地域包括支援センター糀谷 事業計画	29
1-7	大田区地域包括支援センター大森東 事業計画	32
1-8	シニアステーション羽田 事業計画	34
2	池上事業部門	36
2-1	養護老人ホーム池上長寿園 事業計画	36
2-2	特別養護老人ホーム池上 事業計画	40
2-3	池上高齢者在宅サービスセンター 事業計画	43
2-4	定期巡回池上長寿園24	46
2-5	特別養護老人ホーム馬込	48
2-6	大田区地域包括支援センター久が原 事業計画	51
2-7	地域ささえあい強化推進事業	55
3	大森事業部門	57
3-1	特別養護老人ホーム大森 事業計画	57
3-2	大森高齢者在宅サービスセンター 事業計画	61
3-3	大田区地域包括センター大森 事業計画	64
3-4	軽費老人ホーム 大田区立おおもり園 事業計画	67
4	蒲田事業部門	70
4-1	大田区立特別養護老人ホーム蒲田 事業計画	70
4-2	大田区立蒲田高齢者在宅サービスセンター 事業計画	73
4-3	大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター 事業計画	76

4-4 ケアプランセンター池上長寿園南蒲田事業所 事業計画	79
4-5 ヘルパーステーション池上長寿園南蒲田 事業計画	81
4-6 大田区地域包括支援センター蒲田 事業計画	83
4-7 大田区地域包括支援センター西蒲田 事業計画	86
4-8 大田区地域包括支援センター新蒲田 事業計画	89
4-9 シニアステーション新蒲田 事業計画	92
5 たまがわ事業部門	94
5-1 大田区立特別養護老人ホームたまがわ 事業計画	94
5-2 大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター 事業計画	99
5-3 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター 事業計画	103
5-4 介護予防事業 事業計画	106
5-5 大田区地域包括支援センターたまがわ 事業計画	108
5-6 大田区若年性認知症支援相談窓口 事業計画	112
5-7 大田区地域包括支援センター田園調布 事業計画	114
5-8 シニアステーション田園調布 事業計画	117
5-9 シニアステーション田園調布西 事業計画	119

※事業種別毎の計画書の計画項目は以下のとおり

計画項目
(1)事業方針
(2)予算概要
(3)重点課題に対する推進項目と取り組み内容
① 利用者満足度向上
② 職員満足度向上
③ 働き方改革の推進
(4)年間計画

I.令和4年度事業部門事業計画書

(1)法人理念

「未来への創造」 歴史を紡ぎ今に挑戦する

(2)令和4年度 社会福祉法人池上長寿園 基本方針

【Change(チェンジ)&Challenge(チャレンジ)】

法人の経営理念である「未来への創造」は、未来に向けて新しい取り組みを作り出していくことです。そして「歴史を紡ぎ」つまり創業時の思いを引き継ぎ、そのうえで「“今”に挑戦する」すなわち今ここにある危機・課題に積極果敢に立ち向かっていくことを徹底していきます。そこで令和4年度の事業基本方針のキーワードは、持続可能な池上長寿園へと脱皮するための基礎固めとして、「Change& Challenge」としています。

(3)令和4年度 事業方針

令和4年度は、「未来への創造プラン3.1」の2年目、中間年度となります。基本方針である「Change&Challenge」を達成すべく、具体的な取り組みとして、適切な収入目標設定と月間収支管理の実践、利用者のことを知る努力と支援効果の見える化の実践、チームケアの重要度と専門性を互いに理解し、多職種連携を実践します。職員が一丸となって事業運営に携わり、法人の方向性やあるべき姿を求めて組織風土を創り上げていきます。

①施設及び在宅等事業方針

- ・基幹事業における安定した収入確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体としたはたらきやすい職場づくり

②公益事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(4)羽田・糀谷事業部門 基本方針

今日まで築いてきた、良質なサービス提供と地域貢献の実績を基盤として、チーム一丸となって、変化する社会環境への適応や、福祉課題の解決に迅速に取り組みます。また、個別ケアの実践等に基づく、誠実かつ確実な収入確保によって、永続的に「地域の拠り所」として在るための経営基盤の確立を目指します。

①リスク管理

コンプライアンス遵守を軸に、新しい生活様式を踏まえた感染症対策や災害対策のBCPを策定し、研修や訓練実施体制構築に早期着手して、対応力強化に取り組みます。また、事故防止、情報セキュリティ対策、虐待防止、ハラスメント対策について、委員会等で評価検討の上、対策の進捗管理を行います。

②生産性の向上

経営本部事業担当課と連携し、業務量算定に基づく周辺業務や記録業務の効率化を図ります。また、「LIFE」の積極的活用及び「持ち上げない介護」の導入により、サービスの質の向上と働き方改革の両立を推進します。計画の進捗においては、職員全員が理解し取り組めるよう、情報共有を丁寧に行います。

③地域貢献

法人創業時の想いを大切に、様々な地域活動や関係機関との連携、ケースワーク等を通じて、複雑化、複合化した地域の真のニーズを捉え、専門的な知見と柔軟な対応力を以て、地域共生社会の実現に取り組みます。また、地域包括支援センターにおける人財育成の体制を検討・強化します。

(5)予算概要一覧 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載 (千円)

勘定科目		羽田拠点	糀谷拠点
事業活動収入計①		618,006	669,219
事業活動支出計②		572,344	611,718
	(人件費)	395,874	398,720
	(事業費)	86,334	114,553
	(事務費)	90,019	97,750
	(その他費用)	117	695
事業活動収支差額 ③=①-②		45,662	57,501

(6) 羽田・糺谷事業部門 Challenge計画

① テーマ

項目	内容
情1-3	ICTの活用

② 取組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	事業効果 (目標)	KPI (指標)	具体的取組み	予算額
情1-3	生産性の向上により、利用者サービスの質の向上に向けた時間を生み出す	①紙の記録からの移行完了	計画的な介護記録システムの導入、運用を行います。	30,000,000
		②超勤時間令和元年度比50%削減		

(4)池上事業部門 基本方針

池上事業部門では、今年度より大規模修繕が始まります。特養は2年間の事業休止となりますが、事業を継続する在宅サービスセンターと養護老人ホーム、定期巡回、包括支援センター、特別養護老人ホーム馬込がそれぞれの機能を発揮し、連携をより深めることで、地域のみなさまの安心につながるよう努めてまいります。

①リスク管理

施設に配置されている安全対策担当者を中心に、事業運営に関わるリスクに対してリスク評価を行い、事業種別に応じた実効性のある対策を講じます。また、リスクを適切に管理できているか、定期的な検証と見直しを継続し、有事の際適切な対応ができるよう計画的な訓練を実施します。

②生産性の向上

福祉の生産性とは、有限な人財によって質の高いサービスを提供できることであるため、サービスの担い手である職員が働きやすいよう、職場環境の整備と持ち上げない介護の実践に取り組みます。そして、サービスの質を高めるための業務改善、科学的根拠に基づく介護の実践のための記録システム導入準備を進めます。

③地域貢献

この地で特養が開設して30年、地域のみなさまとともに歩み、紡いできたつながりを大切に、地域共生社会の実現という未来の創造に寄与してまいります。
誰ひとり取り残されない地域づくりのために、地域とのパートナーシップを結び、強化できるよう取り組みます。

(5)予算概要一覧 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載 (千円)

勘定科目		養護拠点	池上拠点	馬込拠点
事業活動収入計①		179,967	293,583	205,624
事業活動支出計②		164,425	311,873	214,657
	(人件費)	70,536	210,411	140,781
	(事業費)	46,647	44,419	32,175
	(事務費)	47,242	56,792	40,698
	(その他費用)	0	251	1,003
事業活動収支差額 ③=①-②		15,542	-18,290	-9,033

(6) 池上事業部門 Challenge計画

① テーマ

項目	内容
R1-1	新しい生活様式を踏まえたサービス提供の構築
情1-1	法人の価値を最大化するブランディング

② 取組み事項

連動	事業効果 (目標)	KPI (指標)	具体的取組み	予算額
R1-1	その人の人生を知り、その人生と今の生活をつなげながらケアを実践する(歴史を紡ぐケア)体制を構築する	①法人内に「ケア対象者の人生を知る」仕組みをつくる ②「歴史を紡ぐケア」を実践し、共有できる仕組みをつくる	「ライフヒストリー」作成チームを法人内につくり、作成～事業所内での共有・活用方法等まで検討・実践を行います 全事業所に「歴史を紡ぐケア」の理解の推進を図った上で、実践事例を発表してもらい機会をつくり、優秀なケアには表彰を行います	245,476
情1-1	「歴史を紡ぐケア」の実践を広く社会に発信する	①「歴史を紡ぐケア」の取り組みをHPで公表する ②「歴史を紡ぐケア」の取り組みを学会で発表する	関連部署と協働し、「歴史を紡ぐケア」の内容と取り組みをHPで公表する体制を整えます 「歴史を紡ぐケア」の取り組みや実践事例を学会で発表します (表彰を受けたケア事例の学会発表に向けたサポート等も含む)	213,200

(4)大森事業部門 基本方針

大規模修繕を経て特別養護老人ホーム大森と大森高齢者在宅サービスセンターが大森西地域で再開します。軽費老人ホームおおもり園、地域包括支援センター大森を含めた事業部門職員が一つとなり、地域に信頼される地域福祉の中核拠点として、また地域の一員として共に未来を創造する役割を果たします。

①リスク管理

感染症や災害、介護事故、虐待防止、ハラスメント対策などへの対応力を強化するため、委員会の設置や研修、訓練を行います。そして、利用者及び地域に対して安心安全な生活実現を目指すため、適切なサービス提供に務めるとともに、職員の働く環境の適正整備にも取り組みます。

②生産性の向上

記録や会議、人材育成等でICTを活用、業務の効率化を図ることで生み出した時間を、地域(利用者)の皆様への、より質の高いサービス提供へとつなげます。特別養護老人ホーム大森と大森高齢者在宅サービスセンターは速やかに定員を満たします。また、「科学的根拠に基づく介護の実践」を進めるため記録システムの導入を検討します。また、持ち上げない介護を実践します。

③地域貢献

地域の一員として、多種多様化する地域(利用者)の皆様の想いをくみ取り、気持ちに寄り添うといった姿勢を忘れることなく、地域包括ケアシステムの構築、その先に広がる地域共生社会といった未来実現に向けて、社会福祉法人としての機能と知識、経験を活用し実践していきます。

(5)予算概要一覧 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載 (千円)

勘定科目		大森拠点
事業活動収入計①		334,134
事業活動支出計②		330,629
	(人件費)	211,063
	(事業費)	59,064
	(事務費)	60,502
	(その他費用)	0
事業活動収支差額 ③=①-②		3,505

(4) 蒲田事業部門 基本方針

蒲田事業部門は相談から入所まで、高齢期のあらゆる場面でのサービス提供が可能です。各事業の特性と専門性を活かして連携し、ご利用者のニーズに沿った支援を行い、利用者満足度の向上を目指します。また、EPA(経済連携協定)を利用し、国籍・性別・雇用形態等多様な人財を受け入れ、安定した事業運営を進めていきます。

① リスク管理

感染症や災害、介護事故、虐待防止、ハラスメント対策などへの対応力を強化するため、委員会の設置や研修、訓練を行います。そして、利用者及び地域に対して安心安全な生活実現を目指すため、適切なサービス提供に務めるとともに、職員の働く環境の適正整備にも取り組みます。

② 生産性の向上

記録や会議、人材育成等でICTを活用、業務の効率化を図ることで生み出した時間を、地域(利用者)の皆様への、より質の高いサービス提供へとつなげます。「科学的根拠に基づく介護の実践」には、客観的記録の収集・分析が不可欠です。これらを効率的に実施するめるため記録システムの導入に向けた準備を行います。また、持ち上げない介護を実践します。

③ 地域貢献

新型コロナウイルス感染症の流行により、地域との交流事業は縮小を余儀なくされました。地域との関係性を再構築する一年と考えます。多種多様化する地域(利用者)の皆様の想いをくみ取り、気持ちに寄り添う姿勢を忘れることなく、地域包括ケアシステムの構築、その先の地域共生社会実現を実践していきます。

(5) 予算概要一覧 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載 (千円)

勘定科目		蒲田拠点	矢口拠点	南蒲田
事業活動収入計①		682,974	108,992	78,757
事業活動支出計②		619,987	83,516	64,099
	(人件費)	397,413	64,450	56,793
	(事業費)	112,694	13,586	0
	(事務費)	109,342	5,480	7,296
	(その他費用)	538	0	10
事業活動収支差額 ③=①-②		62,987	25,476	14,658

(6) 蒲田事業部門 Challenge計画

① テーマ

項目	内容
人1-2	キャリアデザインの推進
情1-1	法人の価値を最大化するブランディング

② 取組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	事業効果 (目標)	KPI (指標)	具体的取組み	予算額
人1-2	職員が他事業での職場体験を通して、地域における法人の役割を学ぶと同時に法人に対する帰属意識の醸成と自身のキャリア形成につなげる	キャリアアップ支援	事業部門内にチャレンジチームを設置、具体的な研修プログラムを立案します 職場体験は原則1事業所1日8時間単位とし、総合職を対象に実施します	144,000
情1-1	池上長寿園ブランドの向上に取り組む	インパクトのある宣伝効果	JR蒲田～JR大森区間の京急バスを長寿園バスの仕様にするラッピングを依頼します	2,000,000

(4) たまがわ事業部門 基本方針

たまがわ事業部門は、事業部門全体が1つのチームとしての認識を持ち、各職員がそれぞれの専門性を活かし連携を図りながら、地域における様々なニーズに応えます。そしてご利用者・ご家族、地域、職員、施設、事業所の満足度の向上とともに、永続的に発展する事業運営を行い、安定した経営基盤を構築します。

① リスク管理

感染症や災害、介護事故の予防、虐待防止等、事象発生時に迅速に対応できる組織の機能強化を行います。また、「指針」「マニュアル」等の定期的な整備及び職員参加型の「訓練」や「研修」を実施することにより、リスクに強い組織体制を構築します。併せてご利用者等の個人情報、法人規程に沿って適切な管理を行います。

② 生産性の向上

職務分掌の明確化、業務の平準化及びシステムの活用等、業務改善を積極的に実践することで、生産性の向上による増収と可能な限りの支出削減を図ります。また、持ち上げない介護の実践やコミュニケーションの取りやすい職場風土を作ることにより職員間の情報共有や連携を推進し、業務の効率化を図り生産性の向上に繋がります。

③ 地域貢献

地域共生社会の実現のため、高齢分野にとどまらず幅広い機関とのネットワーク構築を推進します。また、事業部門内での連携を図り、「人」「場所」「知恵」の提供とともに地域における福祉人材の育成も視野に入れ、組織の機能を活かした地域に根差した福祉拠点としての活動を実践して行きます。

(5) 予算概要一覧 ※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載 (千円)

勘定科目		たまがわ拠点	下丸子拠点
事業活動収入計①		1,196,539	121,123
事業活動支出計②		1,090,366	113,010
	(人件費)	738,839	85,727
	(事業費)	188,639	15,991
	(事務費)	162,128	11,292
	(その他費用)	760	0
事業活動収支差額 ③=①-②		106,173	8,113

(6) たまがわ事業部門 Challenge計画

① テーマ

項目	内容
R1-1	新しい生活様式を踏まえたサービス提供の構築

② 取組み事項(※別紙「業務計画」の概要)

連動	事業効果 (目標)	KPI (指標)	具体的取組み	予算額
R1-1	特養たまがわの強みを活かした地域貢献の実践と人財育成に取り組む	ひまわり 100本 植栽	施設内外気浴委員会を中心に、PTを設立し、実施計画を作成します 園庭ボランティア等への説明・協力依頼を行い、植栽及び日々管理を実施します	5,000

Ⅱ.令和4年度事業所事業計画書

1-1. 特別養護老人ホーム羽田

事業計画

(介護老人福祉施設:定員 100 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 8 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計①	434,504	50,677
事業活動支出計②	427,086	33,060
(人件費)	290,888	21,778
(事業費)	66,726	6,454
(事務費)	69,365	4,818
(その他費用)	107	10
事業活動収支差額③=①-②	7,418	17,617

年間目標利用率

特養 %

短期 %

合計 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	自己実現プログラム(夢プラン)達成率100%	尊厳と自立支援の理解を深めます
		本人本位のケアマネジメントを実践します
		ご利用者個人の「やりたいこと」を叶える、自己実現プログラム(夢プラン)を実践します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	全職員が5年後の自らの姿(なりたい自分)を確立する	人財を育成できるリーダー層を育成します
		職員全員が、個々人の、「なりたい自分」へのスケジュールを作成します
		職員面談の実施と目標に対する支援体制を充実させます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	介護記録システムと情報共有システムを中心に据えた情報の集約・発信・収集の体制構築	介護記録システム導入に向けたPTを立ち上げ、安定した運用体制を確立、継続します
		「LIFE」による厚労省へのデータ提出行い、フィードバックを活用し、ケアの質向上を目指します
		情報セキュリティ研修を開催します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
花見	桜を鑑賞して春の訪れを感じる	4月
家族懇談会	家族に対して、年度事業計画を説明し、安心感と信頼関係を構築する。 また、家族からの意見要望を確認し、今後の運営に反映する	4月
しょうぶ湯	しょうぶ湯に入り、季節を感じるとともに邪気を払う	5月
入居者懇談会	入居者に対して、年度事業計画を説明し、安心感と信頼関係を構築する。 また、家族からの意見要望を確認し、今後の運営に反映する	5月
七夕	願いごとを書いた短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお願いをする	7月
阿波踊り見学(糺谷商店街)	夏の風物詩である阿波踊りを見学して楽しむとともに、地域との交流を図る	8月
盆踊り見学(都南町会)	夏の風物詩である盆踊りに参加して楽しむとともに、地域との交流を図る	8月
納涼祭	屋台・ゲーム・出し物など盛りだくさんのお祭りを開催し、涼を感じながら、地域との交流を図る	8月
敬老会	ご長寿のお祝いと参加者の皆様に楽しい時間を過ごして頂くのと同時にご健康とご多幸を願う	9月
萩中文化センター見学(文化祭)	地域の方々の作品を目で楽しむとともに、地域との交流を図る	10月
運動会見学(都南小学校・本羽田保育園)	運動会を見学するとともに、地域との交流を図る	10月
文化祭	クラブ活動の成果を展示し、やりがい、生きがいを引き出す	11月
餅つき	餅をつき、鏡餅を作って年末を感じるとともに にお正月に備える	12月
ゆず湯	冬至にゆず湯に入り、季節を感じるとともに邪気を払う	12月
新年会・初詣	おせちを食しながら新年を祝うとともに近所の神社で新年の無事と平安を祈願する	1月

節分	豆をまき厄除けをする	2月
ひなまつり	ひな人形、ひなあられやちらし寿司を楽しむ	3月
ボランティア感謝の集い	日頃お世話になっているボランティアに感謝の気持ちを伝えるとともに歓待する	3月
華道クラブ	ボランティアの先生にご指導いただきながらお花を生ける	月1回
絵画クラブ	ボランティアの先生にご指導いただきながら絵や作品を創作する	月1回
書道クラブ	ボランティアの先生にご指導いただきながら書をたしなむ	月1回
レクリエーション	四季や陽気に合わせ外気浴、体操、カラオケ等のプログラムを提供する	月1回
ホーム喫茶・バー	いつもと違う場所で、いつもと違う人と交流を図りながら喫食する	月1回
自己実現プログラム(夢プラン)	ご入居者個人のやりたいことに着目し、プログラムを提供する※賀寿のご入居者対象	ご利用者個々の賀寿時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門会議	事業部門内の意思決定、協議、情報交換	月1回
特羽会議	特養全体に関わる事項の報告・連絡・調整、また、事業計画に対する進捗確認	月1回
フロアリーダー会議	フロア間にある具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	月1回
フロアミーティング	フロア単位の具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	隔月
医務室会議	医務室業務の具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	月1回
相談室会議	相談室業務の具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	月1回

サービス担当者会議	ご入居者にとって適切な施設サービス計画書を作成し、施設での生活が満足度の高いものとなるよう協議・検討	週2回
リスクマネジメント委員会	施設内に存在するリスクの回避 事故の分析及び対応策の検討とその周知徹底 骨折事故を減らす取り組み	月1回
身体拘束虐待防止委員会	権利擁護意識の向上と身体拘束0の推進	月1回
医療安全委員会	介護職員による胃ろう、吸引等の安全な実施体制の構築	月1回
看取りケア委員会	看取りケア技術の維持向上・物品整備・環境の改善	月1回
感染症対策委員会	感染症と食中毒の予防・まん延防止策の整備と実施	月1回
BC(ベーシックケア)委員会	基礎的知識と介護技術の維持向上 尿路感染症を減らす取り組み 誤嚥性肺炎を減らす取り組み 褥瘡予防策の整備と実践	月1回
環境整備委員会	ケアを提供するための物品整備とフロア環境の改善	月1回
サービスマナー委員会	サービスマナーの徹底と専門性の高い職員の育成	月1回
地域貢献委員会	広報誌やホームページを通じた広報活動と地域貢献・交流活動の充実	月1回
安全衛生委員会	職員の健康管理・職場環境の整備と実践 「持ち上げない介護」の推進	月1回
防災対策委員会	災害に対する被災予防・低減策の整備と実践 各種防災、避難計画、BCPの見直し、改定	月1回
納涼祭実行委員会	納涼祭開催に向けての企画、準備、運営	4月～8月適時
親睦委員会	親睦会・歓送迎会等福利厚生活動の企画と実施	随時

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
新規採用職員研修 ※特養糀谷と共催	池上長寿園・特養羽田職員としての必要な知識や考えを身につけて現場に入るための心構えができる	4月
尊厳と自立支援研修	介護の本質である尊厳と自立支援についての理解を深める	4月
オムツのあて方研修	オムツの種類・基本的なあて方を知るとともに、正しい排泄介助が尿路感染症や褥瘡予防につながる事が理解できる	4月
感染症予防研修(手洗い研修)	自らの手洗いを振り返り、正しい手洗いができるようになる	5月
リスクマネジメント研修 (KYT・救急対応研修)	入居者の周囲に潜む危険について考え事故を未然に防ぐことができるようになる	5月
ティーチング・コーチング研修	次世代リーダーを育成できるリーダーを養成する	5月
食中毒研修	食中毒の種類と発生機序を知り、衛生管理ができるようになる	6月
身体拘束・権利擁護研修(3大ロック)	入居者の自由を妨げる様々なロックを知り、入居者の権利擁護に対する意識の向上を図る	6月
医療ケアフォローアップ研修	喀痰吸引、経管栄養について知識、技術の維持向上を図る	6月
リスクマネジメント研修(誤薬防止研修)	誤薬防止マニュアルと誤薬事故発生機序を理解し、正確な服薬介助ができるようになる	7月
摂食嚥下研修	摂食嚥下機能について理解し、安全な食事介助と清潔な口腔環境を保つことができるようになる	7月
リスクマネジメント研修(情報セキュリティ研修)	情報管理の重要性和そこに潜むリスクを理解する	7月
ハラスメント防止研修	自身もハラスメントの当事者となり得ることへの気づきを促し、どのような行為を職場から無くすべきか考える	7月
身体拘束・権利擁護研修(身体拘束の弊害について)	身体拘束がもたらす弊害について理解し、身体拘束に対する職員の意識向上を図る	8月
認知症ケア研修 ※特養糀谷と共催	認知症に関する基礎知識とともにケアの本質を理解でき、実際の現場で反映できる	8月
ストレスマネジメントとコミュニケーション研修 ※特養糀谷と共催	ストレスや怒りの感情と上手く付き合い、良好な態度で仕事に臨めるようになる	8月
ポジショニング研修	適切なポジショニングを実践することにより、安全安楽な暮らしの提供と褥瘡予防が図れるようになる	9月

看取りケア研修	看取りケア指針の理解・死生観を醸成するとともに看取りケア技術が提供できるようになる	9月
感染症予防研修(感染症に関する知識と吐物処理)	感染症に対する基礎知識を身につけるとともに、実際の対応ができるようになる	10月
身体拘束・権利擁護研修(虐待防止研修)	虐待について理解するとともに、その発生機序を理解し、虐待のない生活支援ができるようになる	10月
労務管理研修 ※特養穂谷と共催	労務管理の基礎知識の習得とともに適切な労務管理ができるようになる	11月
サービスマナー研修 ※特養穂谷と共催	職員行動基準のH(おもてなし)S(笑顔)を体現できる職員を養成する	11月
BCT(ベーシックケアトレーニング)研修	基礎的介護技術の習得を図る	随時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
避難経路・設備確認訓練	新入職員に対し、防災意識を高められるように訓練する	4月
夜間想定防災訓練	最少人数でも災害に対応できるように訓練する	6月
水害対策訓練	水害時に生命の安全が確保されるように訓練する	8月
業務継続計画訓練	不測の事態が発生したとき、なすべきことを理解し業務が継続できるようになる	9月
福祉避難所開設訓練 シェイクアウト訓練	福祉避難所開設がスムーズなものとなるよう訓練する	9月
本羽田3丁目都南自治会合同訓練	災害時の地域との協力体制を構築する	10月
食事提供訓練	非常食を実際に調理し、災害に備える	11月
不審者対応防犯訓練	さすまたを活用した不審者対応を訓練する	12月
初期消火訓練	万一の火災の際に被害を最小限にとどめる	1月
緊急連絡網訓練	安否確認サービスシステムを活用した情報伝達訓練	2月
大規模地震発生想定防災訓練	大規模地震を想定した訓練を実施する	3月
入居者の所在不明時の対応訓練	万一の際の対応を事前に確認し、不測の事態に備える	随時

1-2. 羽田高齢者在宅サービスセンター

事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目		一般+総合	認知
事業活動収入計①		93,135	39,690
事業活動支出計②		83,798	28,400
	(人件費)	61,633	21,575
	(事業費)	10,100	3,054
	(事務費)	12,065	3,771
	(その他費用)	0	0
事業活動収支差額③=①-②		9,337	11,290

年間目標利用率
一般+総合 85.7 %

認知 70.8 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	一般・認知それぞれの特性 を明確にし、感染症対策を 徹底することで、1日当り一 般30名、認知8.5名の利用 者数を達成します	個別ケアに基づくプログラムを推進します
		認知症ケアを強化します
		感染症対策を徹底します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配 分の仕組みづくり	資格取得や育成を行いつつ 計画的付与以上の有給取得 を行うことでオンオフのメリ ハリのある職場環境を目指 します	資格取得の奨励と東京都認知症介護基礎研 修の受講を支援します
		次世代生活相談員を育成します
		年次有給休暇の計画的取得を推進します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	記録システムを導入すること で、事務作業の効率化と加 算の取得を目指します	介護記録システムを導入します
		介護記録システムを稼働させます
		LIFEによる加算算定を確実に実施します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
菖蒲湯	季節を感じる入浴	令和4年5月
敬老会	長寿を祝う	9月
外出訓練	商業施設への買い物など社会交流	11月
柚子湯	季節を感じる入浴	12月
節分	豆まきをして無病息災を願う	2月
お花見	季節を感じる	3月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
職員会議	通所事業の業務全般の計画・進捗確認	月1回
プログラム会議	提供するサービスプログラムの確認	月1回
運営推進会議	利用状況の説明、地域活動の報告	年2回
感染症対策委員会	感染症予防・対策などの協議・確認	年2回
権利擁護委員会	身体拘束廃止・ハラスメント・虐待防止などの検討、研修	年2回
防災対策委員会	特別養護老人ホーム羽田に準じる	月1回
安全衛生委員会	特別養護老人ホーム羽田に準じる	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
感染症予防研修	感染症予防策および発生時の対応方法の理解	年2回
虐待防止研修	虐待対応および事例検証	年1回
ハラスメント研修	各種ハラスメントの知識向上	年1回
認知症ケア研修	認知症の理解と対応方法の理解	年4回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
業務継続計画研修	災害および感染症発生時の事業継続プランの訓練(机上訓練)	年1回
防災対策訓練	特別養護老人ホーム羽田に準じる	

1-3. 大田区立特別養護老人ホーム糀谷 事業計画
 (介護老人福祉施設:定員 104 名)
 (短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 11 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要 (千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計①	477,219	57,908
事業活動支出計②	445,344	54,346
(人件費)	290,599	31,968
(事業費)	82,368	15,367
(事務費)	71,802	6,932
(その他費用)	575	79
事業活動収支差額 ③=①-②	31,875	3,562

年間目標利用率	
特養	96.5 %
短期	112.2 %
合計	98.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	新たな加算の取得	施設サービスの向上のための加算を取得します
		顧客(利用者・家族・地域)エンゲージメント向上のためのニーズ調査を実施します
		生産性向上に資する業務改善を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	法人理念の理解浸透率 80%(ES調査、職員アンケート)	法人理念の理解と浸透のための仕組みを作ります
		経営人財となる職員を育成します
		目標管理・キャリアアップ支援の充実を図ります

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	超過勤務 令和元年度比-50%	情報共有体制を整備します
		情報セキュリティの意識向上・対策を見直し、更新に取り組みます
		記録の効率化と整理を実践します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
春の花見	近隣公園等の桜見学	4月
端午の節句	5月人形の飾りと菖蒲湯	5月
家族懇談会	事業計画書の説明とご家族との意見交換	5月
入居者懇談会	事業計画(年間予定)の説明と意見交換	5月
七夕	笹の葉と短冊の飾りつけ	7月
阿波踊り見学(糀谷商店街)	糀谷商店街の阿波踊り見学(夜の外出)	8月
盆踊り見学(二丁目町会)	地元町会の盆踊りに参加	8月
ふれあい祭り	福祉のまち糀谷と称した地域合同の夏祭り	8月
長寿お祝い会(敬老会)	式典や演芸で長寿をお祝いする	9月
糀谷文化センター見学(文化祭)	書道の作品を出展見学を通じて地域との交流を図る	10月
秋の文化祭	作品の展示や秋の装飾または特別企画の実施	11月
餅つき	家族会主催による餅つき行事	12月
クリスマス	装飾とクリスマスコンサートの開催	12月
ゆず湯	冬至の風習である“ゆず湯浴”の実施	12月
お正月行事	お屠蘇やお節料理でお正月を祝う	1月
新年祝賀会	新年を祝う初笑い演芸行事	1月
節分	豆をまき厄除けをする	2月
ひなまつり	桃の節句をお昼の行事食で祝う	3月
お楽しみ献立	セレクト献立または行事食の提供	月1回
誕生日会	1年に1度のお誕生日を昼食時に祝う	月1回
家族会喫茶“ラッピー”	家族会主催のホーム喫茶	年3回
ボランティア懇親会	地域のボランティアの皆さまに1年間の感謝を伝える交流行事	3月
音楽体操クラブ	歌に合わせた体操で心身の活性化を図る	月1回
華道クラブ	生け花を通じて季節を感じていただく	月1回
書道クラブ	字体で自分らしさを表現する	月1回

舞踊クラブ	地域のボランティアのみなさまによる踊りと鮮やかな着物姿を見ながら余暇を楽しむ	月1回
		月1回
バラエティクラブ	紙芝居、手品、体操などバラエティ豊かなクラブ	月1回
		月1回
自己実現プログラム(夢プラン)	ご入居者個人のやりたいことに着目し、プログラムを提供する	利用者に合わせ 随時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門会議	事業部門内の意思決定、協議、情報交換	月1回
職員会議	事業部門内の経営、運営方針等の周知、職員意見発信の場	4月及び随時
安全衛生・感染症対策委員会	職員の健康管理と職場環境改善に関する ことの協議、感染症対策に関する協議等 「持ち上げない介護」の推進	月1回
防災対策委員会	災害に備えた物品の補充、チェック、訓練 の実施事業継続計画(BCP)見直し・改定	月1回
リスクマネジメント委員会	事故の検証、分析と対応策の周知事故予 防研修の企画立案、開催	年6回
権利擁護向上委員会	身体拘束等の適正化の理解と周知、権利 擁護と高齢者等虐待防止の理解と周知	年6回
ドリームパスポート委員会	職員のモチベーションアップにつながる企 画の立案と実践施設内研修の企画と開催	年6回
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防のための啓発と研修の開催	年6回
食事・口腔機能維持向上委員会	食事、口腔ケアサービス向上のための啓発 及び研修の開催	年6回
サービス向上委員会	介護サービス全般の現状把握、課題抽出、 改善策の立案	年6回
看取りケア委員会	看取りケア技術の維持向上・物品整備・環 境の改善	年4回
環境整備委員会	ケアを提供するための物品整備と環境の改 善	年6回
ショートステイサービス向上委員会	ショートステイサービスの理解、課題抽出、 改善策の立案	年6回

親睦会(ポプラの会)	親睦会・歓送迎会等福利厚生活動の企画と実施	年6回
ふれあいまつり運営委員会	福祉のまち粕谷の夏祭り開催に関する協議、決定	年3回
ふれあいまつり実行委員会	福祉のまち粕谷の夏祭り開催に関する企画内容、役割分担、進捗状況の確認	年3回
地域貢献委員会	夏祭りの施設内企画の立案とボランティア懇親会の企画立案、開催広報誌の発行	年8回
特養会議	特養事業内の意思決定、協議、情報交換	年6回
リーダー会議	フロア間にある具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	年6回
医務室会議	医務室業務の具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	年6回
相談室会議	相談室業務の具体的な課題に対する検討と報告・連絡・調整	年6回
ケアプラン会議	施設サービス計画書作成のための会議	随時
行事担当者会議	各種行事の企画立案と実施	随時

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
新規採用職員研修 ※特養羽田と共催	法人理念や事業所方針などを学ぶ研修	4月
看取り研修	看取りケア指針の理解及び死生観を醸成する	5月
身体拘束ゼロ推進研修	身体拘束がもたらす弊害と指針の理解	5月
感染症予防研修(手洗い研修)	手洗いチェッカーの使用やDVD視聴により適切な手洗いを身に着ける	6月
業務継続計画研修	震災や火災、感染症など不測の事態が発生した際の事業継続に必要な知識を学ぶ	6月
リスクマネジメント研修	危険予知トレーニング(KYT)	7月
ハラスメント防止研修	自身もハラスメントの当事者となり得ることへの気づきを促し、どのような行為を職場から無くすべきか考える	7月
褥瘡予防研修	褥瘡をつくる要因を正しく理解する	7月

認知症ケア研修※特養羽田と共催	認知症に関する基礎知識の理解とケアの本質を理解する	8月
ストレスマネジメントとコミュニケーション研修 ※特養羽田と共催	ストレスや怒りの感情と上手く付き合い、良好な態度で仕事に臨めるようになる	8月
虐待防止研修	虐待につながる要因の理解、指針の理解等	9月
未来への創造研修	法人理念の理解と浸透(共感)	9月
身体拘束ゼロ推進研修	尊厳、自立支援についての理解を深める	10月
感染症予防研修(嘔吐物処理訓練)	嘔吐物処理方法の理解を深め実践する	10月
労務管理研修 ※特養羽田と共催	労務管理の基礎知識の習得とともに適切な労務管理ができるようになる	11月
サービスマナー研修 ※特養羽田と共催	職員行動基準のH(おもてなし)S(笑顔)を体現できる職員を養成する	11月
BCT(ベーシックケアトレーニング)研修	基礎的介護技術の習得を図る	12月
医療ケアフォローアップ研修	喀痰吸引、経管栄養について知識、技術の維持向上を図る	12月
救命救急研修	心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ	1月

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
離園への対応	利用者の所在不明時対応マニュアルの周知・訓練	随時
防災訓練	年間防災訓練実施計画に基づく防災訓練実施	月1回

1-4. 大田区立糀谷高齢者在宅サービスセンター 事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 40 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目		一般+総合	認知
事業活動収入計①		99,838	34,254
事業活動支出計②		86,695	25,333
	(人件費)	58,696	17,457
	(事業費)	13,154	3,664
	(事務費)	14,814	4,202
	(その他費用)	31	10
事業活動収支差額③=①-②		13,143	8,921

年間目標利用率
一般+総合 80.0 %

認知 60.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	法人の行動基準SHSTを念頭に、ご利用者の尊厳保持、自立支援に基づいたサービスを提供します一般通所介護利用者数1日当り32名以上を目指します	個別性の高いプログラムを提供します
		接遇チェックリストの活用を推進します
		ヒヤリハットの検証を実施します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配 分の仕組みづくり	ライフワークバランスを実現するために職場環境を整備します年次有給休暇5日以上上の取得を目指します	介護保険法を遵守し、進捗を管理します
		年次有給休暇の計画的取得を進捗します
		業務改善に取り組み、超過勤務時間を削減します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	今まで築いてきた知識や技術を活用し、信頼され選ばれる事業所を目指します認知症対応型通所介護利用者数1日当り7.2名以上を目指します	認知症進行予防プログラムを実践し、ご利用者が「出来ること」を一緒に探していきます
		東京都認知症介護基礎研修の受講を推進します
		LIFEの活用を推進し、サービス向上を目指します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
菖蒲湯	季節感を味わう入浴	5月
七夕	短冊に願いを書いて飾る	7月
スイカ割り	夏の風物詩を味わう	8月
敬老会	長寿を祝う	9月
外出訓練	商業施設への買い物	11月
柚子湯	季節感を味わう入浴	12月
忘年会	演芸大会	12月
新年会	施設内特設神社への参拝	1月
節分	豆まきをして無病息災を願う	2月
調理実習	おやつを手作りする	3月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
ケース検討会議	ご利用者の個別対応の確認	月1回
スタッフ会議	業務全般の計画・調整をする	月1回
運営推進会議	利用状況の説明、地域活動の報告	年2回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
認知症介護基礎研修	認知症介護に関する知識を修得する	年数回
高齢者虐待防止研修	虐待防止と権利擁護について	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

大田区立特別養護老人ホーム糀谷に準じる

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	プラットフォーム設置	高齢者見守り活動特別分科会を通じ孤立し ない・取り残されない地域づくりに取り組みま す
		チームオレンジの体制整備を通じ「地域ケアコ ミュニティ」活動内容等の見直しを図ります
		自主グループ懇談会を実施活動状況の把握、 自主グループの活動支援を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	キャリアアップ・専門職育成 計画	権利擁護、生活困窮、精神保健等の研修に参 加する事でケースワーク力向上を図ります
		高齢者見守りやフレイル予防等の研修に参加 し、コミュニティワーク力向上を図ります
		認知症関連の研修等に参加認知症について 全方位型アセスメントができる人財を育成し ます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	地域活動の提案	・オンライン配信体操プログラムを町会・自治 会、シニアクラブや自主グループ等に広げま す
		・個別レベル地域ケア会議などICTを活用した 会議実施に向けた検討を行います
		・認知症予防・フレイル予防のため、ライブ配 信等を用いた取り組みを実施します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
羽田萩中ふれあいまつり	羽田地域最大の地域行事	10月
萩中文化センターまつり	萩中文化センターで開催される地域行事	10月
羽田・萩中地区ウォークラリー	地域の高齢者のひきこもり・フレイル予防等を目的とした取り組み	年1～2回
認知症カフェ つながーる	認知症の進行予防と早期発見など認知症の方にやさしい地域づくりを目指す	月1回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
地域力推進羽田地区委員会	高齢者見守り活動特別分科会リーダー	年5回
羽田地区民生委員児童委員協議会	民生委員との情報共有、地域課題の検討	年11回
羽田萩中ふれあいまつり実行委員会	実行委員として参加	年7回
萩中文化センターまつり実行委員会	実行委員として参加	年7回
地域ケア会議	個別、日常生活圏域、基本圏域のそれぞれの地域ケア会議に参加	適宜
糺谷・羽田地域福祉管内包括連絡会	糺谷・羽田地域庁舎管内3包括と地域福祉課とで情報共有、検討等を実施	月1回
糺谷・羽田地域福祉課管内認知症地域支援推進員連絡会	認知症地域支援推進員の活動状況の共有、ステップアップ講座の実施等の検討	年6回
法人内包括所長会議	地域共生社会の実現を目指し、地域住民との懸け橋的役割の創造実践について協議	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅰ	介護支援専門員の資質向上を図る	主催側案内に基づく
東京都介護支援専門員専門課程研修Ⅱ	介護支援専門員の資質向上を図る	主催側案内に基づく
東京都主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図る	主催側案内に基づく

令和4年度東京都地域包括支援センター職員研修(初任者・現任者)	包括支援センターに勤務する職員として必要な知識及び技術の習得・向上を図る	年1回ずつ
大田区介護支援専門員研修	介護支援専門員及び主任介護支援専門員の資質向上を図る	主催者案内に基づく
令和4年度精神保健福祉研修(前期・後期)	精神疾患を抱えているケースへの対応力向上等を図る	主催者案内に基づく
令和4年度認知症地域支援推進員研修(現任者研修・現任者研修)	認知症地域支援推進員の効果的な活動を行うため必要な知識・技術の習得を図る	年1回ずつ
令和4年度認知症初期集中支援チーム員研修会	認知症初期集中支援チーム員研修未受講者対象に役割、活動内容等について学ぶ	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
地震想定訓練(大田区シェイクアウト訓練)	いのちを守る3動作の実施	防災週間に実施
羽田地域力推進センター合同防災訓練	羽田地域力推進センター内で防災訓練を実施	年2回程度
職員継走訓練	包括支援センター及びシニアステーション羽田職員を対象に継走訓練を実施	年2回程度

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	専門性を活かした協働 地域活動再開支援 認知症の普及啓発 話し合える場への参加	話し合える場に参加・町会単位の地域活動を 再開支援しフレイル予防を啓発します
		認知症早期発見・対応の体制整備のため講 座・啓発ツールの配布等行います
		ひとり暮らし高齢者の孤立化を防ぐため、見 守りネットワーク事業の啓発を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	安心して働き続けることがで きる職場環境づくり 個別支援の対応力標準化	所内でどの職員でも同様の対応ができるよう 総合相談の底上げを行います
		「ワンストップ！」をモットーに相談者を適切に つなぐため、他機関と連携します
		働きやすい環境構築のための、職員ヒヤリン グを実施します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	ICT活用による地域共生社 会の実現 ICTを活用した講座開催	ICTを活用した講座を開催し、地域の高齢者 にICTを身近に感じられるよう情報提供を行 います
		自宅に居ながら情報を得られるようスマート フォン講座等を通じて普及啓発を行います
		ICTを活用した相談・会議を進め、切れ間の ない相談・サービスの継続を目指します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェ	認知症予防、早期発見、相談の場	都度
家族介護者の会	介護者同士のささえあいの場	月1回
介護予防教室	フレイル予防	月1回
民生委員懇談会	意見交換や情報交換	年1回
ケアマネ連絡会	3包括協働の連絡会	年3回
フレイル予防(元気シニアPJ)	フレイル予防イベント	年2回
疑似体験講座	高齢者疑似体験講座	年1回
つながる掲示板	地域との意見交換ツール	通年掲示
スペシャル体操	ICTを活用したフレイル予防	月1回
広報誌発行(かわらばん等)	情報を地域に発信する	年2回
チームオレンジ事業	認知症フォローアップ・徘徊見守り訓練	年1回
町会・自治会関係	町会のイベントに参加	随時
地域イベント開催	包括主催でのイベント開催	随時
出張相談会	遠方の地区で開催	随時
出張予防教室・認知症講座	町会単位で開催	随時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
大田区地域包括支援センター連絡会	大田区、包括との情報、意見交換	年2回
大田区見守りささえあいコーディネーター連絡会	大田区、包括との情報、意見交換	年2回
大田区認知症地域支援推進員連絡会	大田区、包括との情報、意見交換	年2回
糺谷羽田地域庁舎看護師連絡会	地域庁舎との情報共有と意見交換	月1回
糺谷羽田地域庁舎コーディネーター連絡会	地域庁舎と地域福祉コーディネーターとの情報共有と意見交換	月1回
糺谷羽田地域庁舎地域包括支援センター連絡会	地域庁舎との情報共有と意見交換	月1回

糀谷羽田地域庁舎介護支援専門員連絡会	地域庁舎との情報共有と意見交換	年8回
地域力推進糀谷地区委員会	地域・行政機関との情報共有・意見交換	月1回
糀谷地区福祉施設連絡会	地域・福祉施設・行政機関との情報共有・意見交換	年6回
地域密着型通所介護事業所運営推進会議	ご本人・家族・地域・事業所・行政機関との情報共有と意見交換	随時
地域密着型小規模多機能型居宅介護運営推進会議	ご本人・家族・地域・事業所・行政機関との情報共有と意見交換	随時
認知症対応型グループホーム運営推進会議	ご本人・家族・地域・事業所・行政機関との情報共有と意見交換	随時
特別養護老人ホーム入所判定会議	特養入所のための判定会議	年2回(4か所)
地域ケア会議	地域課題の検討(個別・自立支援)	随時
羽田糀谷事業部門会議	部門内での協議・報告・調整・意見交換	月1回
大田区法人協議会	社会福祉法人・行政機関との情報共有・意見交換	随時
糀谷地区コミュニティー会議	地域の高齢者へのフレイル予防啓発等、地域課題を検討する場	年6回
包括運営会議	業務の課題検討・事例検討	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護支援専門員現任研修	介護支援専門員向けスキルアップ	年1回
主任介護支援専門員現任研修	主任介護支援専門員向けスキルアップ	年1回
高齢者虐待研修	包括職員向け対応へのスキルアップ	年3回
認知症初期集中支援チーム員研修	資格取得のための研修	年1回
認知症地域支援推進員研修	資格取得のための研修	年1回
東京都地域包括支援センター職員研修	包括職員向け対応へのスキルアップ	年1回
東京都主催研修	包括職員向け対応へのスキルアップ	随時
大田区主催研修	包括職員向け対応へのスキルアップ	随時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
安全衛生委員会	職員の安全衛生に関わる検討	月1回
防災対策委員会	防災計画・訓練等の調整	月1回
糀谷地区一斉防災訓練	地域で開催の防災訓練・拠点訓練参加	年1回

1-7. 大田区地域包括支援センター大森東 事業計画

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域包括ケアシステムの構 築、重層的支援体制整備	フレイル予防ツール「ゆいま～る通帳」を活用 し多世代へ向けてフレイル予防を啓発します
		地域ケア会議等への参加、地域課題の共有、 関係機関と連携し健康活動を実施します
		複合的な課題であっても、職種にて検討し、 解決へ向けてチームで支援します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	事業所にて積極的な研修参 加や勉強会等の実施、職員 の資質向上	定期的なケース検討会を実施し、相談援助 力、チーム対応力を向上させます
		各種研修参加を推進し、資質向上につなげま す
		参加した研修について所内で伝達研修を実 施し内容等について共有を図ります

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	多世代へ向けた認知症に関 する啓発、普及のための講 座等を開催	認知症対策を地域全体で行えるよう、関係機 関と連携し多世代へ向け講座を開催します
		認知症カフェ「ひなたぼっこ」を開催し、認知 症になっても安心できる居場所作りにつなげ ます
		出張所と連携し、地域へ向けた認知症予防啓 発の取り組みを行います

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防教室	健康に関する運動・講話を通じた介護予防	月2回
ひなたぼっこ(認知症カフェ)	認知症の早期発見、認知症の方の居場所づくり	月1回
いつつのわふれあい祭り	フレイル予防等の啓発を実施	10月予定

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
民生委員児童委員協議会	関係機関による情報共有	年10回
地域力推進大森東地区委員会	大森東地区自治会と合同開催、情報共有	年8回
いつつのわふれあい祭り実行委員会	5自治会共催による地域祭の実行委員会	地域のスケジュールによる

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
高齢者虐待対応研修	虐待対応へのスキルアップ	主催者のスケジュールによる
成年後見制度研修	権利擁護業務の対応力向上	主催者のスケジュールによる
糺谷羽田ケアマネージャー研修会	ケアマネジメント力の向上	主催者のスケジュールによる
東京都地域包括支援センター職員研修	包括職員向け研修	主催者のスケジュールによる
東京都・大田区等主催研修	包括職員向け研修	主催者のスケジュールによる

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
地域力推進委員会防犯・防災分科会	自治会合同防災訓練・情報伝達訓練	令和4年9月予定
大森消防署住宅防火防災対策推進協議会	消防署との情報共有等	年1回
大森東特別出張所災害訓練	出張所との地震想定避難訓練等	年1回

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	プラットフォーム設置	包括と連携し、地域の高齢者が孤立しない・ 取り残されない地域づくりに取り組みます
		チームオレンジの体制整備に参加し、認知症 当事者やその家族が集える機会を検討します
		自主グループ懇談会に参加し、活動状況の把握、 自主グループの活動支援を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推進	キャリアアップ・専門職育成 計画	フレイル予防リーダー養成講座に計画的に参加し、 講師等が出来るよう、取り組みます
		高齢者分野の制度や施策等の理解を深める 事で、来館者への負担なく相談を繋げられる 体制を作ります
		シニア羽田として大田区版地域アセスメント シートを作成し、地域アセスメントを実施します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	地域活動の提案	オンライン配信の体操プログラムを町会・自治 会、シニアクラブや自主グループ等に広げま す
		スマートフォン教室の開催等を通じて、はね びょん健康ポイント等紹介し、普及・啓発に取り 組みます
		包括と連携し認知症やフレイル予防のためラ イヴ配信等を用いた取り組みを実施します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
羽田萩中ふれあいまつり	羽田地域最大の地域行事	令和4年10月
萩中文化センターまつり	萩中文化センターで開催される地域行事	令和4年10月
羽田・萩中地区ウォークラリー	地域の高齢者のひきこもり・フレイル予防等を目的とした取り組み	年1～2回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
シニアステーション連絡会	高齢福祉課、区内にあるシニアステーションと情報共有等を実施	年1～2回
羽田地区民生委員児童委員協議会	民生委員との情報共有、地域課題の検討	地域のスケジュールによる
地域ケア会議	個別、日常生活圏域、基本圏域のそれぞれの地域ケア会議に参加	地域のスケジュールによる
シニアステーション羽田スタッフミーティング	シニアステーションの活動内容の検討等を実施	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防指導員研修	介護予防事業の遂行	主催者スケジュールによる
熱中症指導員研修	熱中症指導を地域に向けて行う	主催者スケジュールによる

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
地震想定訓練(大田区シェイクアウト訓練)	いのちを守る3動作の実施	防災週間に実施
羽田地域力推進センター合同防災訓練	羽田地域力推進センター内で防災訓練を実施	年2回程度
定期的な防火点検等の実施	包括支援センター羽田、シニアステーション羽田のフロアー内の点検を実施	毎日
職員連絡網点検	包括支援センター及びシニアステーション羽田職員を対象に連絡網点検を実施	年2回程度

2-1. 養護老人ホーム池上長寿園 事業計画
 (養護老人ホーム池上長寿園 定員 60 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収入確保
- ・利用者の尊厳確保・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体的とした職場づくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
CSV構築に向けた 研究・開発	支援体制の強化	安心・安全な支援を行います
		フレイル予防の取り組みについて検証し、充実を図ります
		自立、自己決定を支援します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配 分の仕組みづくり	業務分掌の再構築	適正な職員配置を行います
		役割に応じて業務を整理します
		チームマネジメントを推進します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	業務の効率化	ICTを活用した地域活動・フレイル予防を推進します
		ICTを活用した効率的な研修機会を設けます
		超勤時間の削減を図ります

(3)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
ラジオ体操	ラジオ体操の放送を流し、居室又は食堂で体操を行う	毎日(正月除く)
椅子ヨガ	椅子を用いてヨガを行う	月1回
歩こう会	近隣周辺を散策、室内での筋トレ	月1回
生花	花の癒し効果及び花器に生花を活け、展示する	月1回
頭の体操	脳トレ等の問題集を行う	月1回
健康体操	DVDを見ながら椅子に座って体操を行う	月1回
レクリエーション	体操やゲーム、季節の作品作りを行う	月1回
コーヒーを楽しむ会	入居者手伝いのもとコーヒーを楽しむ	月1回
書道	楷書・行書が主の太筆の練習を行う	月1回
合唱	声を出すことによる心身の活性化と発表会への参加	月1回
お達者	外部講師による音楽療法	月1回
フラダンス	椅子に座りフラダンスを行う	月1回
カラオケ	カラオケ通信機器・ハンディカラオケを使用して歌を楽しむ	随時
映画	懐かしの映画を鑑賞する	第5日曜日
和(なごみの会)	園芸・貢献活動(手伝い)を主として行う	随時
健康講座	歯科・栄養等健康に関する講座	年5回
端午の節句	人形飾り 花飾り	5月
お楽しみ入浴	菖蒲湯 ゆず湯	5月 12月
ピクニック弁当	園庭にて弁当を楽しむ	5月
機恵子寮来訪	児童養護施設との交流	6月
合唱発表会	アプリコにて発表	6月
七夕	七夕飾り 児童との交流	6月
納涼夕食会	園庭にて夕涼み夕食会を楽しむ	7月
敬老祝賀会	長寿を祝う お祝い膳	9月
秋の味覚会	食を通じて秋を感じる	10月
近隣小学校ミニバスケクラブ来訪	地域交流	11月
もちつき・やきいも会	園庭にてもちつき、やきいもを楽しむ	12月
クリスマス食事会	クリスマス会	12月

新年祝賀会	お祝い膳	1月
鏡開き	おしろこ	1月
節分	豆まき	2月
桃の節句	ひな人形飾り	3月
お花見	近隣にてお花見	3月
茶話会(貢献活動者・ボランティア)	施設における貢献活動者や地域ボランティアに感謝の意を表する	3月
お話し合い会	全入居者を対象に職員から施設のお知らせ等を行う	月1回
個別外出	外出機械を設け、引きこもりの防止や意欲向上を図る	随時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
施設長会議	特養・養護・軽費事業における課題・マネジメント体制の構築について協議	月1回
池上戦略会議	事業部門内の情報共有・課題の検討等	月1回
地域・広報委員会	事業部門の広報誌の企画・作成・発行・ホームページ更新、地域活動の企画	月1回
安全衛生委員会	職場の労働安全衛生の情報共有・協議等	月1回
感染症対策委員会	感染症等の予防・まん延防止の検討、研修の企画・実施等	月1回
運営会議	事業目標進捗確認、施設運営等協議	月1回
業務検討会議	業務内容検討、情報共有、個別ケース検討	月1回
事故防止委員会	安全対策担当者を設置し、事故やヒヤリハットの原因究明	月1回
身体拘束・虐待防止委員会	身体拘束の現状把握と廃止、入居者の安全と人権保護の観点に努める	年4回
防災対策委員会	大規模災害に備え定期的な防災訓練の実施、防災備蓄食料の管理	月1回
サービスマナー委員会	適切な言葉使いや挨拶身だしなみの徹底	年4回
ケースカンファレンス	個別支援計画策定、見直し	年6～12回
大田区特養・養護施設長会議	大田区内特養・養護・軽費の合同施設長会	年12回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
養護分科会職員研修	養護分科会による入居者ケアや他施設の情報交換	随時
人権研修(Ⅰ)(Ⅱ)	人権について正しい理解と認識を深める	随時
高齢者虐待防止研修	基礎的な知識から高齢者虐待防止に向けた具体的取組を学ぶ	年2回
感染症対策指導者養成研修	東京都主催感染症に対し正しい知識を身につける	随時
東社協職員研修	東社協主催ケアやソーシャルワークについて学ぶ	随時
業務フロー研修	業務の視覚化や標準化、業務フローの改善	随時
身体拘束防止研修	身体拘束ゼロについて理解を深める	年2回
事故防止研修	事故のリスクを把握し組織的に管理し事故を未然に防ぐ	年2回
ハラスメント防止研修	ハラスメントに対し基礎的な知識を理解する	随時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
夜間想定訓練(火災)	夜間を想定した避難訓練	4月
地震対策訓練	実際に避難する方法を実施(入居者)	5月
非常持ち出し袋点検	非常持ち出し袋を点検する(入居者)	6月
防災非常食訓練	非常食の作り方等を学ぶ(入居者・職員)	7月
水害対策訓練	水害時を想定した訓練	8月
地震対策訓練(シェイクアウト)	大田区一斉シェイクアウト(入居者・職員)	9月
継走訓練	電話連絡網を用いた訓練	10月
一斉放送による試験放送訓練	館内放送を用いて放送訓練(入居者)	11月
防災DVD鑑賞	防災に関する啓発活動(入居者)	12月
机上防災訓練(火災)	火災を想定した訓練	1月
防犯訓練	防犯対策・防犯対応を学ぶ	2月
机上防災訓練(地震)	地震を想定した訓練	3月

(介護老人福祉施設:定員 102 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 8 名)

(1) 事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2) 予算概要

(千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計 ①	102,470	22,674
事業活動支出計 ②	154,882	12,422
(人件費)	100,682	6,291
(事業費)	27,508	2,805
(事務費)	26,500	3,278
(その他費用)	192	48
事業活動収支差額 ③=①-②	-52,412	10,252

年間目標利用率

特養 77.3 %短期 143.3 %合計 84.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	大規模修繕の準備	安心・安全な住替えを進めます
		過ごしやすい環境を整えます
		物品の管理を適切に行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	働きがいのある職場づくり	職員の「なりたい姿」を具象化します
		役割の明確化を図ります
		キャリアプランを作成します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	笑顔あふれるフロアづくり	「持ち上げない介護」を推進します
		業務のムリ・ムダ・ムラをなくします
		コミュニケーションの活性化を図ります

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
外出行事	春のお花見	4月
家族懇談会	ご家族との情報共有・意見交換	5月
被服販売会	施設内でのお買い物	5月
お楽しみ入浴	菖蒲湯	5月
利用者懇談会	ご利用者との情報共有・意見交換	6月
七夕飾り	短冊・七夕飾りづくり	7月
地域交流まつり	地域住民・事業者との交流	8月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
施設長会議	特養・養護・軽費事業における課題・マネジメント体制の構築について協議	月1回
池上戦略会議	事業部門内の情報共有・課題の検討等	年5回
地域・広報委員会	事業部門の広報誌の企画・作成・発行・ホームページ更新、地域活動の企画	年5回
安全衛生委員会	職場の労働安全衛生の情報共有・協議等	年5回
感染症委員会	感染症等の予防・まん延防止の検討、研修の企画・実施等	年3回
リーダー会議	事業計画の進捗管理・必要事項の協議等	年5回
フロア会議	情報共有・必要事項の協議等	年5回
身体拘束・虐待防止委員会	権利擁護の取り組み、研修の企画・実施等	年3回
褥瘡・排泄委員会	褥瘡予防・対応の検討、研修の企画・実施等	年3回
入浴委員会	浴室環境整備、入浴サービス内容の検討等	年3回
食事口腔委員会	食事介助・口腔ケア研修の企画・実施等	年3回
事故防止委員会	安全対策担当者を中心に事故防止の検討、研修の企画・実施等	年5回
サービスマナー委員会	サービスマナー向上の取り組み等	年3回
認知症PT	認知症ケアスキル向上の取り組み等	年5回
看取り委員会	看取りケアの質を高める取り組み等	年3回
略痰吸引等安全委員会	従事職員の教育環境の整備、スキル向上の取り組み等	年2回
ボランティア委員会	活動啓発と受入等	必要時
大田区特養・養護施設長会議	大田区内特養・養護・軽費の合同施設長会	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
感染症対策研修	感染症予防・対策のスキル習得等	年2回
身体拘束・虐待防止研修	権利擁護の理解と職員の意識向上等	年2回
排泄ケア・褥瘡予防研修	ケアスキルの向上、褥瘡予防・管理等	年1回
事故防止研修	危険予測能力の向上等	年1回
サービスマナー研修	サービスマナーの振り返り等	年1回
認知症研修	認知症の中核症状と行動・心理症状の理解・対応等	年1回
看取り研修	状況に応じた対応の習得等	年2回
喀痰吸引フォロー研修	実技のフォローアップ等	必要時
新人職員研修	介護の知識・技術、法令の理解等	必要時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
夜間想定総合訓練	火災等発生から消防隊到着までの一連の訓練	年1回
防犯訓練	不審者対応、館内連絡方法の確認	年1回
部分訓練	消火・通報・避難訓練等を個別に実施	年1回
総合訓練	地震・火災発生から消防隊到着までの一連の訓練	年1回
水害対策訓練	初期の情報収集から避難までの一連の訓練	年1回

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計①	84,353	39,026
事業活動支出計②	75,284	23,007
(人件費)	53,030	15,839
(事業費)	10,674	3,432
(事務費)	11,574	3,731
(その他費用)	6	5
事業活動収支差額 ③=①-②	9,069	16,019

年間目標利用率
一般+総合 81.0 %

認知 85.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	ケアの質の向上	個別化を重視した認知症予防の視点を強化します
		医療的ケアの高いご利用者を積極的に受け入れます
		計画に基づいたサービスマナー研修を実施します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推進	人財の定着	年2回のヒヤリングによる意識調査を行います
		計画に基づいたスキルアップ研修を実施します
		チームアプローチ力の向上を図ります

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化するブランディング	業務の標準化	広報誌・ホームページの充実を図ります
		「持ち上げない介護」を実践します
		記録システム導入の準備を始めます

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
お花見	近隣散歩、ドライブなど	4月
端午の節句・菖蒲湯	行事を通して季節を感じる	5月
外出訓練	ドライブ、喫茶など	6月
七夕行事	行事を通して季節を感じる	7月
夏祭り	行事を通して季節を感じる	8月
敬老会	敬老祝賀会	9月
運動会	行事を通して季節を感じる	10月
文化祭	作品展示等	11月
お楽しみ会・ゆず湯	行事を通して季節を感じる	12月
新年会	行事を通して季節を感じる	1月
節分行事	行事を通して季節を感じる	2月
ひな祭り行事	行事を通して季節を感じる	3月
アレンジフラワー	アレンジフラワー教室	月1～2回
音楽療法	音楽療法士によるミュージックセラピー	月2～3回
MCIプログラム(認知通所)	認知症予防プログラムの実践と効果測定	週1回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
通所所長会議	法人の通所部門における検討、報告等	月1回
池上戦略会議	事業部門内の情報共有・課題の検討等	月1回
地域・広報委員会	事業部門の広報誌の企画・作成・発行・ホームページ更新、地域活動の企画	月1回
安全衛生委員会	職場の労働安全衛生の情報共有・協議等	月1回
感染症対策委員会	感染症等の予防・まん延防止の検討、研修の企画・実施等	年3回
スタッフ会議	議題に合わせて検討、報告、研修等	月1回
身体拘束・虐待防止委員会	ご利用者の尊厳や権利を守り、その人らしく生きるためのケアの実践と推進	年2回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
サービスマナー研修	PSM(プロフェッショナルサービスマネジャー)職員にサービスマナーの再確認、自身のふりかえり	年2回
食中毒研修	食中毒のメカニズムの理解と予防方法の習得	年1回
感染症研修	感染症に対する知識の習得と感染対策のスキルの向上	年1回
身体拘束廃止・虐待防止研修	権利擁護と不適切ケアの理解と職員の意識向上	年2回
ハラスメント研修	ハラスメント防止についての知識の習得	年1回
認知症研修	認知症に対する知識の向上とケアの質の向上	年1回
生活相談員研修会	通所介護計画書について	通年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
災害時利用者連絡訓練	連絡方法の確認、訓練	年1回
水害想定訓練	水害対策訓練	年1回
火災時屋外訓練	火災対策訓練	年1回
地震想定訓練	地震対策訓練	年1回

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要 (千円)

勘定科目		
事業活動収入計①		45,060
事業活動支出計②		46,278
	(人件費)	34,569
	(事業費)	0
	(事務費)	11,709
	(その他費用)	0
事業活動収支差額③=①-②		-1,218

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	ご利用者・関係機関対象の ニーズ調査を実施	介護保険制度の理解を深めます
		ニーズ調査と把握を行います
		課題を抽出し、解決に努めます

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	ご利用者の喜びにつながる ケアの実践	職員の「なりたい姿」を見える化します
		年間計画に基づいた研修を実施します
		人事考課制度を活用します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの 向上	生産効率の向上	情報共有システムの機能を検証し、理解を深めます
		情報共有システムを活用して業務効率化を図ります
		地域とつながる仕組みづくりに取り組みます

(4)年間計画

①委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
池上戦略会議	事業部門内の情報共有・課題の検討	月1回
地域・広報委員会	事業部門広報誌の企画・発行	月1回
介護・医療推進会議	6か月活動報告・外部評価	年2回9月・3月
感染症委員会	感染予防や対応策	年2回
虐待防止委員会	虐待防止の理解	年1回
権利擁護・身体拘束委員会	権利擁護・身体拘束の理解	年1回
防災委員会	感染症・災害時のBCP見直し・訓練調整	年2回

②研修

名称	内容等	開催時期・頻度
認知症ケア研修	認知症の理解・スキルアップと実践	月1回
感染症研修	食中毒・感染症予防研修	年2回
ハラスメント研修	ハラスメントの理解	年1回
虐待防止研修	虐待防止の理解と実践	年1回
権利擁護・身体拘束研修	権利擁護・身体拘束の理解と実践	年1回
サービス提供責任者研修	サービス提供責任者の役割の理解と実践	年2回

③安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
業務継続訓練	感染症・災害時BCPに基づく訓練	年1回
防災訓練	防災グッズの確認と緊急連絡訓練	年1回
交通安全研修	交通事故の注意点やマナー研修	年2回

2-5. 特別養護老人ホーム馬込

事業計画

(介護老人福祉施設:定員 30 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 5 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目		特養	短期
事業活動収入計①		178,518	27,106
事業活動支出計②		185,075	29,582
	(人件費)	120,459	20,322
	(事業費)	27,646	4,529
	(事務費)	35,967	4,731
	(その他費用)	1,003	0
事業活動収支差額③=①-②		-6,557	-2,476

年間目標利用率

特養 95.0 %

短期 100 %

合計 95.7 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	ご入居者一人ひとりの想い によりそった介護を実践して いきます	見守り支援システム、介護記録システム等の ICTを活用し、リスク予測と予防策の検討を 行います
		認知症介護リーダーによる勉強会を行い認知 症ケアを推進していきます
		安心して施設で終末期を迎えることができる ように看取りケアを充実させていきます

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	やりがいをもって長く安心し て働くことができる環境を整 えます	キャリアアップシートを活用し各人の目標設定 をし進捗状況を確認していきます
		研修への参加、他法人との情報交換会、企業 との意見交換を通し、人材育成を行います
		ICTを活用したチームケアを実践します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	根拠に基づいたケアの実践 と業務の効率化を図ります	データの活用と観察力を併せたケアを実践し ます
		職員全員が有効に活用できるように企業との 勉強会を実施し、情報共有を行います
		業務量算定に基づいた業務改善、改革に取り 組めます

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
夏のスタミナバイキング	お楽しみバイキング	7月
納涼祭	縁日	7月
敬老祝賀会	式典・祝膳	9月
さんま祭り	地域交流行事	10月
忘年会	お楽しみバイキング	12月
お誕生会	月ごとに誕生者のお祝いをします	月1回
お楽しみ御前	普段と目先の異なる食事を楽しめます	月1回
ユニットカフェ	手作りスイーツとコーヒーを楽しめます	月1回
音楽・体操レクリエーション	歌を歌ったり、身体を動かしたりします	通年
書道・絵画・園芸クラブ	書字や水彩画、季節の草花を育て楽しめます	月に1回程度
季節飾りもの作成	四季折々の飾り物を作成しユニットに飾って楽しめます	年4回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
馬込運営会議	事業計画の進捗管理、法人の経営に関わる重要事項の周知	月1回
防災対策委員会	防災対策の推進と訓練の企画検討	月1回
ユニットリーダーミーティング	各ユニットの状況の共有と、業務改善の検討	月1回
医務室会議	ご利用者の医療ケアの確認と、業務内容の検討	月1回
ユニットミーティング	業務内容の検討協議を行い、職員の相互理解を深め意思の疎通を図ります	月1回
安全衛生委員会	職員の労働安全衛生に関する事項を協議・検討、取り組み	月1回
感染症対策委員会	施設において感染症が発生、まん延しないよう体制整備と研修の企画と実施	年4回
事故防止委員会	施設内の事故防止に関する取り組みを検討	年6回

権利擁護(身体拘束ゼロ)委員会	ご利用者の尊厳確保のための取り組み	年6回
医療ケア委員会	医療ケアの実施状況の確認、褥瘡予防に向けたアセスメント計画評価体制の維持継続	月1回
看取り介護委員会	看取りケアの質の向上に向けた取り組み	年4回
介護機器検討委員会	介護技術向上に関する取り組み	月1回
見守り支援システム(眠りスキャン)委員会	取り組みの過程、実績の発信に関わること	月1回

③研修（同一記号が付いている項目については一体的な実施が可能）

名称	内容等	開催時期・頻度
身体拘束等適正化研修	身体拘束適正化に関する基礎的知識等の習得	年2回
高齢者虐待防止研修	虐待等の防止に関する基礎的知識等の習得	年2回
看取りケア研修	看取りケアに関する知識や技術等の向上	年2回
感染症(◎)及び食中毒蔓延防止に関する研修	感染対策の基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発	年2回
感染症(◎)及び災害に係る業務継続のための計画のための研修	感染症及び災害に係る業務継続計画の内容を職員間で共有するとともに、緊急時の対応にかかる理解の励行	年2回
リスクマネジメント研修	事故発生防止の基礎的内容	年2回
褥瘡予防対策研修	褥瘡に関する基礎知識、予防に関すること	年2回
口腔衛生に係る研修	介護職員に対する口腔衛生の管理に係る技術的助言及び指導	年2回
ハラスメント防止対策研修	各種ハラスメントに対する理解・対応に関する研修	年1回
たん吸引フォローアップ研修	たん吸引に関する基本的知識と技術の確認	年2回

④安全管理、防災対策、訓練等（同一記号が付いている項目については一体的な実施が可能）

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	災害などに備えた訓練	年10回
非常災害対策に関する訓練(★)	避難、救出その他必要な訓練	年2回
感染症(※)及び食中毒蔓延防止に関する訓練	感染症が発生した場合を想定し、発生時の対応についての訓練(シミュレーション)	年2回
感染症(※)及び災害(★)に係る業務継続のための訓練	業務継続計画に基づき、感染症や災害が発生した場合の施設内の役割分担の確認、実践するケアの演習等	年2回

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	フレイル予防の普及	おおたフレイル予防事業を推進します
		通いの場でのフレイル予防を促進します
		多種多様な通いの場を創出します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	災害に備える地域づくり	関係機関との連携を深めます
		住民同士の顔の見える関係づくりを進めます
		災害時の関係機関との連携体制の構築を図ります

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	認知症理解の 普及啓発と共生	多世代へ向けた認知症理解の普及啓発を行います
		関係機関と連携を図り、情報を共有します
		既存の取組の整理とチームオレンジ事業を推進します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェ「つながる」	認知症カフェ認知症サポート医によるミニ講座、シナプソロジーエクササイズ他	月1回
さわやか講座	介護予防体操等	月1回
出張!地域包括支援センター	虹の部屋での窓口相談対応	月1回
認知症サポーター養成講座	認知症についての普及・啓発	年3～4回
認知症サポーター養成講座フォローアップ講座	認知症サポーターに対するステップアップ講座、地域ボランティアの啓発	年1回
さくらカフェ	外部講師による体操、講座、茶話会	月1回
虹の部屋 月例会	ミニ講座、茶話会等	月1回
民生委員との懇談会	懇談会	年1回
久が原地域包括ケアの会	事例検討会、懇談会等	年1～2回
認知症普及啓発活動	久が原図書館での認知症図書コーナー設置、認知症に関する掲示等	年1回
まちゼミ久が原	介護予防や防災に関する講座等	年1回
ライラックまつり	法人PR、地域包括支援センターのPR等	年1回
事例検討会	地域のケアマネジャーとの事例検討会	年2回
家族介護者のつどい	介護者交流会	年2回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
池上戦略会議	事業部門の経営戦略	月1回
地域・広報委員会	事業部門の広報誌作成	月1回
安全衛生委員会	職場の労働安全衛生の情報共有・協議等	月1回
感染症対策委員会	感染症等の予防・まん延防止の検討、研修の企画・実施等	年3回
月例会議	事業内容の検討、進捗管理の所内会議	月1回
事例検討会	ケースワークのスキルアップの為の所内会議	月1回
包括所長会	法人内包括所長による業務検討会	月1回
見守りささえあいコーディネーター部会	法人内業務検討会	年6回
認知症地域支援推進員部会	法人内業務検討会	年6回
調布地域包括支援センター連絡会	調布庁舎管内連絡会	月1回

介護支援専門員連絡会運営委員会	調布庁舎管内介護支援専門員連絡会の打合せ等	月1回
調布介護支援専門員連絡会	調布庁舎管内介護支援専門員連絡会	年4回
調布看護師連絡会	調布庁舎管内看護師、保健師、在宅医療相談窓口等との連絡会	年6回
調布地域見守りコーディネーター連絡会	調布庁舎管内の見守りささえあいコーディネーター他、関係機関の連絡会	月1回
グループホーム運営推進会議	グループホームの運営推進会議	年6回×2施設
地域密着型運営推進会議	地域密着型通所介護施設の運営推進会議	年2回×8施設
地域連携会議	定期巡回池上長寿園24の地域連携会議	年2回
久が原地域包括ケアの会実行委員会	久が原地域包括ケアの会の打合せ	年3～6回
久が原地区地域力推進委員会	久が原特別出張所主催地域力推進委員会	年10回
久が原地区民生委員児童員協議会	久が原地区民生委員児童委員の連絡会	年10回
個別レベル地域ケア会議	支援困難、自立支援ケース等の地域会議	年10回
日常生活圏域レベル地域ケア会議	地域課題の発掘、検討等	年1～2回
久が原地区防災協議会運営委員会	久が原地区防災協議会についての打合せ	年3回
久が原地区防災協議会	久が原地区防災に関する連絡、協議会	年3回
田園調布消防署防火防災対策協議会	田園調布消防署による地域との防火防災対策に関する連絡会	年1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
大田区地域包括支援センター新任職員研修	地域包括支援センター業務について	年1回
大田区地域包括支援センター現任職員研修	地域包括支援センター業務について	年1回
大田区高齢者虐待対応基礎研修	虐待対応に関する基礎研修	年1回
大田区成年後見制度研修	成年後見制度に関する研修	年1回
大田区養護者による虐待対応研修	法的支援からの権限行使について	年1回
大田区養護者による虐待対応研修	事例検討	年1回
権利擁護テーマ別実践研修	権利擁護実践力の向上及び対応力向上	年2回
精神保健福祉研修(前・後期)	精神保健福祉に関する実践力、対応力の向上	年2期・複数回
認知症地域支援推進員現任研修	認知症地域支援推進員としての知識、技術の習得及び向上	年1回
東京都認知症多職種協働研修	認知症及び多職種連携に関する研修	年1回

区南部地域リハビリテーション支援センター研修会	地域リハビリテーションに関する研修、連携	年1回
大田区介護支援専門員全体研修	ケアマネジメントに関する研修	年1回
大田区サービス事業者研修	サービス事業者向け研修	年1回
職務関係者研修	DV被害者支援のための基礎知識	年1回
認知症初期集中支援チーム所内研修	認知症サポート医との勉強会	月1回
法人包括研修	地域包括支援センター業務に関する研修	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門内防災訓練	地震・火災・水害等の防災訓練の実施	年数回
感染症対策	事業所内の消毒・換気、訪問時の基本的な感染症対策の実施	通年

(1) 事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	専門性を活かした協業	属性や世代を問わない相談支援体制構築を目指します
		多機関協働のコーディネートを実践します
		アウトリーチを通じ、広範囲な社会資源把握とニーズ調査を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	地域福祉コーディネーター における業務標準化	包括的相談支援の業務標準化を図ります
		事例の積み上げにより地域課題を分析し、効率的な支援体制を確立します
		世代、属性を超えた住民同士が交流できる機会創出へのプロセスを可視化します

②働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	重層的支援体制整備事業へ の理解促進と情報発信	複合的な課題に対応する支援体制の可視化を図ります
		地域づくりの合意形成を図るため、普及啓発のチラシ等情報発信を積極的に推進します
		外郭団体や区民に認識される顔の見える関係づくりを目指します

(3)年間計画

①委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
係会	地域福祉コーディネーター全員によるテーマを設定した話し合い	月1回
朝会	地域福祉コーディネーター内の申し送り、その他エリアを超えての情報共有	毎日
ケース支援会議	個別ケースの報告、支援検討	月1回
センター事業別会	ボランティア担当と地域福祉コーディネーターの地域情報との情報共有	月1回
各エリアごとの打合せ	エリア内情報共有、方向性確認等	随時
全体朝礼	社協全体報告	月2回

3-1. 特別養護老人ホーム大森

事業計画

(介護老人福祉施設:定員 83 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 8 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計①	205,486	25,325
事業活動支出計②	224,578	23,487
(人件費)	139,172	13,573
(事業費)	41,757	6,266
(事務費)	43,649	3,648
(その他費用)	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	-19,092	1,838

年間目標利用率

特養 87.3 %

短期 112.9 %

合計 89.3 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	ご利用者の尊厳保持と自立 支援に向けたサービスを提 供します	大規模修繕後、ご利用者が安心、安全に住み 替えできるよう努めます 感染症予防、誤嚥性肺炎予防の取り組みを実 践します LIFEの活用(科学的介護の推進)を実践しま す

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	安心して働き続けられる仕 組みの構築します	持ち上げない介護を実践します 新人職員育成制度の確立を目指します チームケアの促進を実践します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	業務の効率化に向けた検討 を行い超勤の削減を実施し ます (令和元年対比-50%)	業務改善プロジェクトチームを立ち上げます 労働生産性向上に向けた業務の見直しを検 討します 記録システム導入に向けた検討をします

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
お楽しみ食事会	バイキング等を予定	5月、11月
地域交流夏まつり	模擬店、盆踊り等を予定	7月
敬老祝賀会	敬老の日をお祝いします	9月
クリスマス&年忘れ会	年末イベントを予定	12月
新年祝賀会	獅子舞来所予定	1月
節分行事	施設内で豆まきを予定	2月
ひなまつりコンサート	ジャズコンサート開催予定	3月
お誕生会	月ごとに誕生者のお祝いをします	月1回
外出行事・散歩	ニーズに合わせた計画を作成します	通年
民謡クラブ	懐かしい民謡を皆さんと歌います	月1回
合唱クラブ	童謡や唱歌を中心に皆さんと歌います	月1回
お花クラブ	お好きな花を花器や花瓶に活けて楽しみます	月1回
おひさまクラブ	様々な活動を通して楽しみの機会を提供します	月1回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
リーダー会議	ご利用者サービスに関わる基本的事項、人材育成等を協議し、適正な施設運営を図る	月1回
フロアミーティング	業務内容の検討協議等を通じて、介護職員の相互理解を深め意思の疎通を図る	年4回
相談室ミーティング	空きベッドの有効活用と、ご利用者のニーズに応えるためのベッドコントロールなど調整や情報共有を行います	週1回
医務室会議	ご利用者の医療ケア、業務内容等について看護師相互の理解を深め、意思の疎通を図る	年4回
各種グッドケア会議	援助サービスの向上のため、課題検討、マニュアルの更新や研修の開催	年4回
安全衛生委員会	職員の労働安全衛生に関する事項を協議・検討、取り組みを行います	月1回
感染症対策委員会	施設において感染症が発生、まん延しないよう体制整備	月1回

事故防止対策・安全対策委員会	施設内の事故防止に関する取り組み 喀痰吸引等を実施するにあたり、安全体制 確保の取り組み	年4回
身体拘束適正化・権利擁護委員会	ご利用者の尊厳確保のための取り組み	年4回
看取りケア向上委員会	看取りケアの質の向上に向けた取り組み	年4回
褥瘡予防対策委員会	褥瘡予防に向けたアセスメント、計画、評価 体制の維持継続	年4回
食事委員会	ご利用者の嗜好調査、食事形態等に関わ る取り組み	年4回
危機管理対策委員会	施設全体の防災対策に関する必要な事項 を定め、火災、震災、水害、その他の災害に 対し未然防止及びその軽減を図る	月1回
ハラスメント防止対策委員会	各種ハラスメントに対する防止、対策に係る 取り組み	年4回

③研修（同一記号が付いている項目については一体的な実施が可能）

名称	内容等	開催時期・頻度
身体拘束等適正化研修	身体拘束適正化に関する基礎的知識等の 習得	年2回
高齢者虐待防止研修	虐待等の防止に関する基礎的知識等の習 得	年2回
看取りケア研修	看取りケアに関する知識や技術等の向上	年2回
感染症(◎)及び食中毒蔓延防止に 関する研修	感染対策の基礎的内容等の適切な知識を 普及・啓発	年2回
感染症(◎)及び災害に係る業務継 続のための計画のための研修	感染症及び災害に係る業務継続計画の 内容を職員間で共有するとともに、緊急時 の対応にかかる理解の励行	年2回
リスクマネジメント研修	事故発生防止の基礎的内容	年2回
褥瘡予防対策研修	褥瘡に関する基礎知識、予防に関すること	年2回
口腔衛生に係る研修	介護職員に対する口腔衛生の管理に係る 技術的助言及び指導	年2回
ハラスメント防止対策研修	各種ハラスメントに対する理解・対応に関 する研修	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等（同一記号が付いている項目については一体的な実施が可能）

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	災害などに備えた訓練	年10回
非常災害対策に関する訓練(★)	避難、救出その他必要な訓練	年2回
感染症(※)及び食中毒蔓延防止に関する訓練	感染症が発生した場合を想定し、発生時の対応についての訓練(シミュレーション)	年2回
感染症(※)及び災害(★)に係る業務継続のための訓練	業務継続計画に基づき、感染症や災害が発生した場合の施設内の役割分担の確認、実践するケアの演習等	年2回

3-2. 大森高齢者在宅サービスセンター

事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 35 名)

(認知症対応型通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計①	87,708	15,615
事業活動支出計②	64,249	18,315
(人件費)	44,929	13,389
(事業費)	9,128	1,913
(事務費)	10,192	3,013
(その他費用)	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	23,459	-2,700

年間目標利用率
一般+総合 75.1 %

認知 30.2 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	コロナ禍においても安心して 利用できる体制・サービスを 構築	感染症予防への取り組みを徹底します
		在宅生活に根差した、個別・集団の機能訓練 をします
		認知症ケアへの取り組みをします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	意欲的に働くことができる環 境づくり	大規模修繕工事後の認知症対応型通所事業 再開に向けた職員育成をします
		個々の職員が目標・目的意識を持ち業務遂行 します
		多職種、職員間での連携・協力の促進をしま す

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	超勤時間の削減 (令和元年度対比-50%)	LIFE(科学的介護推進)を活用します
		業務の見直しを行い、労働生産性向上を目指 します
		記録システム導入に向けた検討をします

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
七夕	七夕飾りの制作と行事食を提供する	7月
納涼祭	夏祭りを体験し、他者との交流を図る	8月
敬老会	ご利用者の長寿を祝う	9月
運動会	チームに分かれ競技、応援合戦をおこなう	10月
クリスマス忘年会	1年を振り返り新年を迎える	12月
初詣	外出訓練で近隣神社等に参拝する	1月
節分	ご利用者に豆まきをしていただく	2月
お花見	外出訓練で近隣見所を散策する	3月
書道クラブ	書道を通し姿勢や手先・指先の機能訓練	随時
おし花クラブ	自然の物から季節を感じ制作する	随時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
運営会議	経営・運営に関する情報交換・検討等	月1回
職員会議	経営・運営に関する検討・協議・周知等	月1回
再開準備会議	新センターへ移転に向けて準備・進捗管理	上半期
権利擁護・虐待防止委員会	権利擁護、虐待防止に向けた取り組み	月1回
安全衛生委員会	特別養護老人ホーム蒲田に準じ、合同で実施	月1回
防災対策委員会	特別養護老人ホーム蒲田に準じ、合同で実施	月1回
感染症対策委員会	特別養護老人ホーム蒲田に準じ、合同で実施	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
リスクマネジメント研修	危険予測が想定できる視点を養う	年1回
感染症研修	予防と対策のスキルアップを図る	年2回
介護研修	基本的な介護知識・技術を習得する	年1回
認知症ケア研修	認知症への理解を深め、知識・技術を習得する	年1回
虐待防止・身体拘束廃止研修	虐待防止・身体拘束適正化に関する基礎的知識等の習得	年1回
ハラスメント防止対策研修	各種ハラスメントに対する理解・対応に関する研修	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	特別養護老人ホーム蒲田に準じ、合同で実施	時期未定

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域共生社会を見据えた地 域包括ケアシステムの深化 推進	地域の健康増進、フレイル予防に取り組みま す
		認知症対策の体系化に取り組みます
		地域課題を地域で話し合い解決に結びつけ るプラットフォームの構築に取り組みます

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	職員の育成、資質の向上の 仕組みと、安心して働き続け ることが出来る職場環境の 構築	OJTをベースとした育成システムの構築に取り 組みます
		個人ではなくチームとしての方向性を大切に した風土づくりに取り組みます
		災害に備える体制の強化に取り組みます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの 向上	情報の「見える化」の仕組み づくりと価値向上	地域における見守りネットワークの構築に取り 組みます
		消費者被害防止の推進に取り組みます
		ホームページ、広報誌の効果的活用に取り組 みます

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェ	認知症への理解を深める	月1回
地域向け講座	成年後見制度、特殊詐欺被害予防等	年4回
見守り声かけ訓練	気づきの視点とコミュニケーション力の向上	年2回
小学校サマースクール	高齢者疑似体験、福祉用具体験	年2回
ふるはままつり	地域力向上イベント	年1回
開桜小学校花まつり	地域力向上イベント	年1回
おおもりまちづくり協議会	地域力向上イベント	年1回
大森西で健康ビンゴ	健康維持、フレイル予防	通年

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
包括所長会(法人内)	法人内会議	月1回
認知症地域支援推進員部会(法人内)	法人内会議	年6回
見守りささえあいコーディネーター部会(法人内)	法人内会議	年6回
包括会議(包括大森所内)	事業所内における情報共有・協議	月1回
事業部門会議	経営・運営に関する情報交換・検討等	月1回
地域包括支援センター連絡会(大森管内)	地域包括ケアシステム、地域共生社会の構築	年6回
見守りささえあいコーディネーター連絡会(大森管内)	大森地域福祉課主催	月1回
グループホーム運営推進会議	大森管内で運営されるグループホームの運営支援	年6回
地域密着型サービス運営推進会議	大森管内で運営される地域密着型サービスの運営支援	随時
地域力推進委員会	地域力の向上	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
地域包括支援センター新任研修	地域包括支援センターの役割の理解	年1回
地域包括支援センター現任研修	地域包括支援センターの役割の理解	年1回

精神保健研修	精神保健分野の理解	年1回
大森地域介護支援専門員研修	介護支援専門員のスキルアップ	年6回
高齢者虐待防止研修	虐待の予防、早期発見、対応の理解	年6回
認知症初期集中支援チーム研修	認知症への理解とチーム活動	年1回
認知症地域支援推進員研修	認知症への理解と推進員活動	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	こらぼ大森に準じて行う	年1回

3-4. 軽費老人ホーム 大田区立おおもり園 事業計画
 (軽費老人ホームB型:定員 50 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収入確保
- ・利用者の尊厳確保・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体的とした職場づくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	生活の安定と社会参加	園内での年間活動の充実を図ります
		集会室の貸し出しにより、地域との交流を図ります
		利用者支援充実のため他職種や他機関との連携を図ります

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	働きやすい環境整備	職員の意見交換を活発に行い、職員間の信頼関係が深まる職場環境を構築します
		地域と相互理解を深め、有益な情報を職員間で共有します
		相手の立場にたったチームワーク・連携を強化します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	ソフト面・ハード面を最大限 に生かす	報告・連絡・相談をこまめに行い、課題に対してチームで検討する仕組みを構築します
		おおもり園の機能を内外部に向けて発信します
		地域との関係構築を図ります

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防体操	毎朝(日曜日を除く)の体操及び他の運動で体を動かす機会を作ります	週6日
手工芸	館内の装飾等を作成し自主活動に繋がります	月2回
ガーデニング	ベジトラグを活用し季節の草花栽培や野菜栽培、園庭の手入れを通し、社会参加機会を創出します	不定期
自炊教室	簡単な調理方法を学ぶ機会を作ります	不定期
敬老会	長寿をお祝いします	9月
映画観賞会	映画館の雰囲気を感じ外出への機会の選択肢を創出します	不定期

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
月例会議	運営上の課題協議・研修及び報告等の実施	月1回
日次会議	業務連絡や情報共有・ケース会議(随時)	毎日
入所判定委員会	面接後の入所について検討	随時
地域再建事業判定委員会	面接後の入所について検討	随時
感染症対策委員会	感染症・食中毒等発生及び蔓延防止のための取り組み	年4回
虐待防止・身体拘束適正化委員会	権利擁護、虐待防止、身体拘束適正化に関する取り組み	年4回
事故防止対策委員会	事故の発生又はその再発を防止するための取り組み	年6回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
感染症研修	感染症予防対策及び食中毒予防まん延防止対策	年2回
ハラスメント研修	ハラスメントへの正しい知識と接し方を学ぶ	随時
身体拘束適正化研修	身体拘束適正化に関する基礎的知識等の習得	年2回
事故防止対策研修	事故発生防止の基礎的内容	年2回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	基礎訓練・避難訓練・消火訓練	年4回

4-1. 大田区立特別養護老人ホーム蒲田 事業計画

(介護老人福祉施設:定員 104 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 11 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保をします
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立をします
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくりをします

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計①	468,466	73,910
事業活動支出計②	441,043	68,026
(人件費)	290,693	32,182
(事業費)	70,961	27,204
(事務費)	78,997	8,594
(その他費用)	392	46
事業活動収支差額 ③=①-②	27,423	5,884

年間目標利用率

特養 96.5 %

短期 112.2 %

合計 98.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	「科学的根拠」に基づく介護の実践をします	「LIFE」の活用推進・新規加算算定をします 多職種連携によるケアマネジメントの実践をします 新しい生活様式でのアクティビティ実施をします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推進	ダイバーシティ&インクルージョンの推進をします	多様な人材が活躍できる体制の構築をします EPAを活用した職員の受け入れをします 他事業との連携によるシナジー効果醸成をします

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	業務の効率化 安全な職場環境の整備をします	ICTを活用した職員教育・業務効率推進をします 持ち上げないケアの推進をします 感染症・災害への対応力強化をします

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
菖蒲湯	端午の節句にあわせ、菖蒲湯を実施します	令和4年5月
暑気払い	夏の風情を楽しむプランを実施します	令和4年7月
敬老祝賀会	長寿に敬意を表し、祝う 「夢をかなえる」プランの実施をします	令和4年9月
もちつき	もちつきの実施をします	令和4年11月
ゆず湯	冬至にあわせ、ゆず湯を実施をします	令和4年12月
クリスマス・忘年会	年末の風情を楽しむプランを実施します	令和4年12月
新年行事	新年を祝うプランを実施します	令和5年1月
節分	豆まきの実施をします	令和5年2月
ひなまつり&すしの日	早春の風情を楽しむプランを実施します	令和5年3月
家族懇談会	ご家族等との情報共有・意見交換をします	令和4年5月
利用者懇談会	ご利用者との意見交換をします	令和4年6月
児童交流	近隣小学校・児童館との交流をします	随時
誕生会	ご利用者誕生日当日に祝うプランを実施します	誕生日当日
スマイルタイム	新しい生活様式での少人数アクティビティを実施します	随時
散歩の日	施設内・近隣での外気浴を実施します	随時
ショートステイアクティビティ	ショートステイ利用者対象の余暇活動を行います	随時

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人経営の理解と情報共有をします	月1回
事故防止委員会	介護事故予防・防止に関する協議・検討をします	月1回
身体拘束適正化委員会	身体拘束適正化に関する協議・検討をします	月1回
褥瘡対策委員会	褥瘡発症予防・治療に関する協議・検討をします	月1回
感染症対策委員会	感染症予防・対応に関する協議・検討をします	月1回
介護検討：排泄 /入浴 /食事	排泄・入浴・食事支援に関する協議・検討をします	月1回
安全衛生委員会	労働安全衛生に関する協議・検討をします	月1回
防災対策委員会	防災に関する協議・検討をします	月1回
職員会議	施設運営に関する情報共有・意見交換をします	随時

リーダー会議	事業計画進捗管理・必要事項の協議等を行います	月1回
フロア会議	各フロアでの課題共有・検討を行います	月1回
相談室会議	相談業務に関する課題の協議・検討を行います	月1回
医務会議	医務業務に関する課題の協議・検討を行います	月1回
人財育成チーム	多様な人財の受け入れに関する協議・検討を行います	随時

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護事故防止	介護事故防止・事故対応に関する研修を行います	年2回以上
身体拘束適正化	身体拘束適正化に関する研修を行います	年2回
権利擁護	利用者の権利擁護に関する研修を行います	年1回
ハラスメントの理解	各種ハラスメントの理解・対応に関する研修を行います	年1回
感染症対策	感染症予防・対策に関する研修を行います	年2回以上
褥瘡対策研修	褥瘡の予防・ケアに関する研修を行います	年1回
看取りケア研修	看取りケアに関する研修を行います	年1回
食支援・口腔ケア研修	摂食指導担当医による研修を行います	年1回
事業部門全体研修	事業部門内各部署との合同研修を行います	年2回
新規採用職員研修	新規採用職員に対するOJT・Off-JTを実施します	随時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
夜間想定避難訓練	夜間災害発生を想定した訓練を行います	年4回
地震想定避難訓練	地震発生を想定した館内合同訓練を行います	年1回
水害想定避難訓練	水害を想定した館内合同訓練を行います	年1回
総合防災訓練	地域関係機関との連携した防災訓練を行います	年1回
感染症想定BCP初動訓練	感染症発生を想定した初動訓練を行います	年2回以上

4-2. 大田区立蒲田高齢者在宅サービスセンター 事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 40 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保をします
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立をします
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくりをします

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計 ①	93,146	47,452
事業活動支出計 ②	85,679	25,239
(人件費)	57,677	16,861
(事業費)	10,952	3,577
(事務費)	16,950	4,801
(その他費用)	100	0
事業活動収支差額 ③=①-②	7,467	22,213

年間目標利用率
一般+総合 75.0 %

認知 89.2 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	前年比の収入に対して毎月5%上げ、年間5%の収入増させます	各コース共に特徴を活かしながらサービス提供に取り組みます 利用者一人一人の目標を把握し、目標が達成出来るように施設全体で支援をします 第三者評価の活用をします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配分の仕組みづくり	多種多様な職員構成の中で協力しサービスの向上目指しながら、離職率0を目指します	職員個々の能力を把握し配置人数で適材適所で対応しサービスの質の向上を目指します 利用者が不自由なくご利用できるように蒲田・大森協力しながら最後まで取り組みます 職員の健康と安全を守ることで、安定した職場環境が構築します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化するブランディング	毎日全職員が自分たちのサービスに自信を持ちながら、提供・発信をしながらブランド力を強化して行きます	法人、施設で常にやっている物・持っている物をアピールします 担当者会議・見学・契約は最大のブランド力をアピールする場所と認識し、取り組みます パンフレット・ホームページをリニューアルし最大限に活用します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
お花見外出訓練	お花見散歩・ドライブをします	2週間位
端午の節句	5月人形・鯉のぼりを飾ります	1週間
おやつバイキング	おやつ等気分を楽しんでいただきます	4日間
七夕行事	笹に願い事を飾ります	1週間
夏祭り	夏の風情を体感できるプログラムを提供します	1日
敬老祝賀会	敬老のお祝いをします	3日間
文化祭	日頃の成果を発表します	1週間
外出訓練	都内を散歩・ドライブします	4週間位
クリスマス&忘年会	冬の風情を体感できるプログラムを提供します	3日間
新年会行事	新年の風情を体感できるプログラムを提供します	3日間
ひな祭り行事	季節の風情を体感できるプログラムを提供します	3日間
入浴	入浴剤を使用・スキンケアをします	随時
折り紙クラブ	折り紙作品作りをします	随時
書道クラブ	書道をします	随時
手工芸品クラブ	手工芸品作りをします	随時
園芸クラブ	庭で園芸を行います	随時
外出訓練	季節・場所を体感できるプログラムを提供します	年4回
カラオケ	カラオケ・BGM・ゲーム等使用したプログラムを提供します	年1回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人経営の理解と情報共有をします	月1回
在宅会議	運営状況、方向性、各サービスの確認をします	月1回
ミーティング	業務全般の連絡・報告・相談を行います	毎日
プログラム会議	プログラム・行事の検討、準備をします	随時
安全衛生委員会	感染症等の施設運営に関する協議・検討をします	月1回
防災対策委員会	防災等の施設運営に関する協議・検討をします	月1回
広報戦略委員会	広報誌・パンフレット等に関する協議・検討をします	随時
感染症対策委員会	感染症等の施設運営に関する協議・検討をします	月1回
事故防止委員会	介護事故予防・防止に関する協議・検討をします	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
新人採用研修	新規採用職員に対するOJT・OFF-JTを実施します	随時
感染症対策	感染症予防・対策に関する研修を行います	年2回
事故防止	介護事故・交通事故予防に関する研修を行います	年4回
法人BCT	法人における介護技術維持・向上をはかります	随時
事業部門全体研修	蒲田事業部門内での合同研修を行います	年2回
ハラスメントの理解	各種ハラスメント理解・対応等に関する研修を行います	年1回
権利擁護研修	利用者の権利擁護に関する研修を行います	年1回
事業部門全体研修	事業部門内各部署との合同研修を行います	年2回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
地震想定避難訓練	地震を想定した訓練をします	年2回
水害対策避難訓練	津波・台風・川の氾濫を想定した訓練をします	年2回
消火器等操作訓練	消火器や発電機の使用、備蓄の確認をします	年1回
総合防災訓練	近隣の施設との防災訓練をします	年1回

4-3. 大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター 事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 25 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保をします
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立をします
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくりをします

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計 ①	67,109	41,883
事業活動支出計 ②	59,359	24,157
(人件費)	45,791	18,659
(事業費)	9,676	3,910
(事務費)	3,892	1,588
(その他費用)	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	7,750	17,726

年間目標利用率
一般+総合 90.0 %

認知 90.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	R3年度の第三者評価の3項目結果を踏まえ、各項目の利用者満足度が前年度以上であることを目指します	第三者評価結果を踏まえたアンケートを実施します
		アンケート結果を踏まえて業務内容を改善します
		各業務内容の再構成を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推進	年2回(必要時は追加)の面談と年4回の職員ディスカッションを実施することで、職員が働き続けられる職場を目指します	面談を通じキャリアデザインの共有を図ります
		職員の強みを活かした業務分担に取り組みます
		互いに支え合える職場風土を醸成します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	LIFEや加算取得に向けた研修を行い、入浴加算Ⅱの取得を目指します	研修を通してLIFE加算取得に向けた共通理解を図ります
		的確なアセスメントに基づき、計画書を作成します
		入浴加算Ⅱの取得を進めます

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
スイカ割り(2日間)	レクやスイカを食べ夏の風情を共有します	令和4年7月
流しそうめん(3日間)	レクや素麺を食べ夏の風情を共有します	令和4年8月
敬老会(2日間)	日頃の感謝を込めて、長寿をお祝いします	令和4年9月
運動会(2日間)	体操やレク、機能訓練の成果を分かち合います	令和4年10月
年末お楽しみ会(2日間)	一年を振り返り、締めくくりの機会となる会を行います	令和4年12月
新年書初め会	一年の抱負や目標を書き、展示します	令和5年1月
節分	年男・年女を中心に厄払いをします	令和5年2月
外出訓練(10日間)	地域交流と機能訓練のため実施(選択制)します	毎月1回
書道(2日間)	選択制のプログラムとして実施します	毎月2回
ネイル	選択制のプログラムとして実施します	毎月1～2回
編み物	選択制のプログラムとして実施します	毎月1～2回
園芸	認知症対応型プログラムとして実施します	4カ月毎

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
職員会議	報告・伝達・協議のため実施します	月1回
職員ディスカッション	業務における改善のため実施します	4半期毎に1回
常勤会議	事業所の運営の協議のため実施します	4半期毎に1回
事業部門全体会議	報告・伝達・協議のため実施します	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
感染症予防	感染症予防・対策のために行います	年2回
高齢者虐待防止	虐待防止への取り組みのために行います	年1回
権利擁護と身体拘束適正化	不適切ケアの廃止、権利擁護のために行います	年1回
ハラスメント防止	ハラスメント廃止、対策のために行います	年1回
業務継続計画	計画の見直し、伝達のために行います	年1回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
消防訓練	基礎訓練・避難訓練等の実施を行います	年2回
リスクマネジメント	事故やヒヤリハット検証の実施を行います	適宜

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保をします
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立をします
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくりをします

(2)予算概要 (千円)

勘定科目		
事業活動収入計 ①		36,670
事業活動支出計 ②		27,516
	(人件費)	24,015
	(事業費)	0
	(事務費)	3,501
	(その他費用)	0
事業活動収支差額 ③=①-②		9,154

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	専門性を活かした協業を します	包括、特養、デイと共に地域での看取りを支 援します
		法人サービスの強みを活かしたチームケアを 行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	・役割等級に応じた 職員の業務分担を行います	専門性を活かした業務遂行優先とし、事務作 業は整理し部門事務へ委託します
		主任介護支援専門員資格取得への後押しを します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの 向上	各サービスとの情報共有の 簡易化を行います	サービスの申込用紙のデジタル化をします
		同法人内での利用者情報の共有化をします

(4)年間計画

①委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人決定事項報告・伝達・協議を行います	月1回
事業所会議	事業所収支等報告・伝達・協議を行います	月1回
エリア会議	各エリア状況報告・伝達・協議を行います	四半期1回
ケース検討会議	支援困難ケース等の事例検討を行います	週1回

②研修

名称	内容等	開催時期・頻度
大田区介護支援専門員研修	介護医療情報等の理解の為にを行います	年5回
地域庁舎介護支援専門員研修	介護医療情報等の理解の為にを行います	各庁舎年4回
大田区介護支援専門員連絡会研修	介護医療情報等の理解の為にを行います	年2回
他法人との合同事例検討会研修	他法人居宅との意見交換の為にを行います	年1回
主任介護支援専門員研修	主任介護支援員の役割の理解の為にを行います	年1回
主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援員の役割の理解の為にを行います	年1回
介護保険最新情報についての研修	厚労省最新情報・大田区最新情報の為にを行います	週1回
個人情報研修	個人情報取り扱いの理解の為にを行います	年1回
高齢者虐待についての研修	高齢者虐待への理解、対応の為にを行います	年1回
権利擁護研修	権利擁護の理解の為にを行います	年1回
介護支援専門員更新研修	介護支援専門員資格の継続のためを行います	適宜
新任研修	居宅介護支援専門員業務の理解の為にを行います	適宜

③安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
町内会避難訓練	町会・自治会が主催する防災訓練に参加します	年2回
リスクマネジメント	事故、ヒヤリハット検証をします	適宜
感染症対策	マスクと消毒の徹底・体温測定・PCR検査の定期実施をします	適宜

4-5. ヘルパーステーション池上長寿園南蒲田 事業計画

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保をします
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立をします
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくりをします

(2)予算概要 (千円)

勘定科目		
事業活動収入計①		42,087
事業活動支出計②		36,583
	(人件費)	32,778
	(事業費)	0
	(事務費)	3,795
	(その他費用)	10
事業活動収支差額③=①-②		5,504

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	業務内容や各担当の役割を分かりやすくし、サービスの質の向上や生産性の向上を目指します	サービス提供責任者の業務の見直しをします
		常勤ヘルパーの業務マニュアル作成をします
		サービス提供責任者の役割の明確化をします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推進	毎月の定例会や所内会議を通じ、職員が抱えている課題や事業所が抱えている課題を明確にし安心して働ける環境づくりを目指します	定例会、会議での意見交換をします
		課題を分析し業務改善をします
		互いを認め高めあう人材育成をしていきます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	登録ヘルパーの給与集計、有給休暇の管理をします	介護報酬請求システムを利用し作成手順を確立します
		勤怠システムにて登録ヘルパーの有給管理をします
		マニュアル作成をします

(4)年間計画

①委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	報告・伝達・協議のため実施します	月1回
事業会議	報告・伝達・協議のため実施します	奇数月
在宅全体会議	報告・伝達・協議のため実施します	四半期1回
定例会	報告、連絡・意見交換のため実施します	月1回
所内会議	事業所の運営のため実施します	月1回

②研修

名称	内容等	開催時期・頻度
ヘルパーの基本と倫理	専門職としての自覚を再確認します	年1回
認知症について	認知症の理解・対応について確認します	年1回
救急対応	緊急時の対応を行います	年1回
排泄について	排泄の仕組みや、オムツの仕組み使用方法を学びます	年1回
感染症	ノロウイルス対策、新型コロナウイルス対策、食中毒について確認します	年1回
介護技術について	安全な介助が行えるよう車椅子介助、移乗介助などの確認をします	年1回
介護保険について	法令遵守に基づいた(老計10号)、サービス区分の解釈について理解を深めます	年1回
口腔機能について	口腔機能を理解します	年1回
高齢者虐待について	高齢者虐待への理解を深めます	年1回
権利擁護	権利擁護について理解を深めます	年1回
服薬介助について	薬の理解、誤薬の危険性を考えます	年1回
個人情報	個人情報について理解を深めます	年1回

③安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
町内会避難訓練	町会・自治会が主催する防災訓練に参加します	年2回
リスクマネジメント	事故、ヒヤリハット検証をします	適宜

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築をします
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくりをします

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域のニーズを把握し地域 とともに解決します	相談を一つの世帯として捉え対応します
		総合相談からの個別課題を地域と共有し、積極的 に出向き地域づくりに参加します
		認知症施策を推進します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	所内検討・チーム支援を行う ことで職員の資質向上を図 ります	所内ケース検討により支援方針を決め、チー ムで取り組みます
		意見を言える職場環境づくりをします
		内外研修参加・伝達研修を行います

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	業務を効率化できることは 積極的に取り入れます	大田区のシステム移行状況を把握し、現状の 業務を整理します
		所内共有はサイボウズを活用します
		ICTを活用した地域活動支援を行います

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
認知症カフェ	勉強会・相談室・ダンスなど相談できる場所をつくります	定期的
まもりんぴっく蒲田	防災力向上を目的にした地域イベントに参加します	10月まで毎月
蒲田東フェスティバル	蒲田東地区の地域力向上のイベントに参加します	年1回
蒲田地福管内6包括サマースクール	認知症地域支援推進員による多世代に向けた啓発活動の為に参加します	8月(年1回)
蒲田包括管内ケアマネ懇談会	包括主任ケアマネによるケアマネの資質向上の為に参加します	年4回
蒲田事業部門 地域貢献	VR体験など地域住民に向けたイベントを行います	年1回
蒲田駅前図書館医療健康講座	健康講座を行います	定期的
つながる講座(法律編)	地域に向けた弁護士による講座・法律相談を行います	年1回
出張相談会	地域へ出向き相談会を開催します	適宜
地域力推進蒲田東地区委員会	特別出張所の会議に参加します	毎月
地域ケア会議	個別・日常生活圏域レベル会議を開催基本圏域レベル会議へ参加します	適宜
蒲田地域福祉課管内ケアマネ研修	管内ケアマネ事業所の資質向上のため研修を行います	年4回
蒲田消防署住宅防火防災対策推進協議会	消防署と地域の連絡会に参加します	年1回
地域密着型サービス運営推進会議	地域密着型サービスのサービス状況を聞きます	各所半年に1回
民生児童委員協議会	民生委員児童委員の活動状況を把握し、連携します	毎月
民生児童委員との懇談会	高齢者部会との連携で勉強会等の開催をします	年1回程度
認知症初期集中支援チーム員会議	サポート医との初期集中の対象者の検討を行います	2か月に1回

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
夕礼(申し送り)	各自担当ケース報告・進捗・検討を行います	毎日
包括ミーティング	業務内容等の検討・見直しを行います	月1回程度
法人包括所長会	法人内会議を行います	月1回
法人見守り支えあいコーディネーター連絡会	法人内会議を行います	2か月に1回
法人認知症地域支援推進員連絡会	法人内会議を行います	2か月に1回
事業部門全体会議	運営状況報告・経営会議報告を行います	毎月
蒲田地域福祉課連絡会	蒲田地域福祉課主催会議に参加します	月1回
蒲田地域福祉課見守り支えあいコーディネーター連絡会	蒲田地域福祉課主催会議に参加します	月1回
蒲田地域福祉課認知症地域支援推進員連絡会	蒲田地域福祉課主催会議に参加します	月1回
蒲田地域福祉課看護師連絡会	蒲田地域福祉課主催会議に参加します	月1回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
東京都介護支援専門員研修過程ⅠⅡ	介護支援専門員更新に必要な研修に参加します	必要時
東京都主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員の更新研修に参加します	必要時
東京都地域包括支援センター職員研修	初任者研修・現任者研修に参加します	必要時
精神保健福祉研修	精神保健に関わる内容を学びます	前期後期あり
認知症初期集中支援チーム研修	チーム員になるための研修を行います	適宜
認知症地域支援推進員研修	認知症地域支援推進員の役割を担う職員研修を行います	適宜
生活支援コーディネーター研修	生活支援コーディネーター育成研修を行います	適宜
大田区介護支援専門員研修	大田区主催のケアマネ研修を行います	年4回程度

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
避難訓練等	特養・通所の開催に合わせ適宜行います	適宜

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築をします
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくりをします

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域包括ケアシステムの構 築のため中心的な役割を担 います	フレイル予防活動の充実を図ります
		地域の様々な団体との連携した支援体制を構築していきます
		認知症施策を推進します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	職員の職務遂行能力が高ま るべく、労働環境を推進して まいります	業務に必要な資格取得を応援します
		OJTを中心とした研修を実施します
		災害時にも安心して働ける備蓄の整備します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	ICTの活用により活動及び、 利用の促進につながるよう 努めます	ホームページのリニューアルを行います
		包括広報誌を定期的に発行します
		西蒲田お役立ちマップを更新します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェ	認知症相談のため実施します	毎月
こども天国	多世代交流のため実施します	年1回
蒲田西プラットフォーム	地域団体との交流会のため実施します	不定期
あたま元気体操	認知症予防・フレイル予防のため実施します	毎月
蓮沼茶話会	フレイル予防のため実施します	毎月
なかよし道塚	フレイル予防のため実施します	毎月
道塚サロン	フレイル予防のため実施します	毎月
芙蓉ハイツポールウォーク	フレイル予防のため実施します	毎月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人経営の理解と情報共有を行います	毎月
包括会議	部内の業務検討を行います	毎月
法人見守りささえあいコーディネーター会議	法人内の見守りささえあいコーディネーター業務の検討を行います	隔月
法人認知症地域推進員会議	法人内の認知症地域支援推進員業務の検討を行います	隔月
蒲田地域見守りささえあいコーディネーター会議	蒲田地域管内の見守りささえあいコーディネーター業務の検討を行います	毎月
蒲田地域認知症地域推進員会議	蒲田地域管内の認知症地域支援推進員業務の検討を行います	毎月
法人包括所長会議	法人内の包括所長会議を行います	毎月
蒲田地域包括連絡会	蒲田地域管内の包括業務の検討を行います	毎月
蒲田西地区民生委員協議会	地区民生児童委員、関係機関との連絡会に参加します	毎月
蒲田西地区地域力推進委員会	自治会、町会、特別出張所、関係機関との連絡会に参加します	毎月
芙蓉ハイツシニアクラブ見守り委員会	管内の集合住宅シニアクラブ見守り支援員との連絡会に参加します	毎月

区業務改善委員会	高齢福祉課との包括業務検討を行います	不定期
グループホーム運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会に参加します	各所で隔月
通所介護運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会に参加します	各所で年2回
小規模多機能型居宅介護支援運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会に参加します	各所で隔月
認知症初期集中支援チーム員会議	チーム医師との連携により適切な医療、介護に繋がります	不定期
いずみえん入所選定会議	区の特養優先入所制度に基づき参加します	年2回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
虐待対応研修	虐待ケース対応力向上のために開催します	不定期
介護保険課からの研修	ケアマネジメント、およびケアマネ支援力向上を図ります	年4回
精神分野での研修	精神疾患のあるケース対応向上を図ります	不定期
梅ちゃんカフェ	他機関との連携を行います	年1回
蒲田地域庁舎介護支援専門員研修	事例検討、および情報収集します	年4回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
各地区に於ける防災拠点化訓練	町会・自治会が主催する防災訓練に参加します	各所で年1回

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包括・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域包括ケアシステムの構築	フレイル予防活動の充実
		地域の様々な団体との連携した支援体制の構築
		認知症施策の推進

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	職員の職務遂行能力が高まる 労働環境の推進	業務に必要な資格取得の応援
		OJTを中心とした研修
		災害時にも安心して働ける備蓄の整備

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化 するブランディング	ICTの活用により活動及び、 利用の促進につながる	ホームページや広報誌などを用いた新蒲田包括、シニアステーションの普及啓発
		包括広報誌の定期的な発行
		(西蒲田に準拠した)新蒲田版お役立ちマップの作成

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェ	認知症相談	毎月
こども天国	多世代交流	年1回
蒲田西プラットフォーム	地域団体との交流会	不定期
あたま元気体操	認知症予防・フレイル予防	毎月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人経営の理解と情報共有	毎月
包括会議	部内の業務検討	毎月
法人見守りささえあいコーディネーター会議	法人内の見守りささえあいコーディネーター業務の検討	隔月
法人認知症地域推進員会議	法人内の認知症地域支援推進員業務の検討	隔月
蒲田地域見守りささえあいコーディネーター会議	蒲田地域管内の見守りささえあいコーディネーター業務の検討	毎月
蒲田地域認知症地域推進員会議	蒲田地域管内の認知症地域支援推進員業務の検討	毎月
法人包括所長会議	法人内の包括所長会議	毎月
蒲田地域包括連絡会	蒲田地域管内の包括業務の検討	毎月
蒲田西地区民生委員協議会	地区民生児童委員、関係機関との連絡会	毎月
蒲田西地区地域力推進委員会	自治会、町会、特別出張所、関係機関との連絡会	毎月
芙蓉ハイツシニアクラブ見守り委員会	管内の集合住宅シニアクラブ見守り支援員との連絡会	毎月
区業務改善委員会	高齢福祉課との包括業務検討	不定期
グループホーム運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会	各所で隔月
通所介護運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会	各所で年2回
小規模多機能型居宅介護支援運営推進会議	利用者、家族、事業所、地域との懇談会	各所で隔月
認知症初期集中支援チーム員会議	チーム医師との連携により適切な医療、介護に繋げる	不定期
いずみえん入所選定会議	区の特養優先入所制度に基づき参加	年2回

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
虐待対応研修	虐待ケース対応力向上のため	不定期
介護保険課からの研修	ケアマネジメント、およびケアマネ支援	年4回
精神分野での研修	精神疾患のあるケース対応向上	不定期
梅ちゃんカフェ	他機関との連携	年1回
蒲田地域庁舎介護支援専門員研修	事例検討、および情報収集	年4回

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
各地区における防災拠点化訓練	町会・自治会が主催する防災訓練	各所で年1回

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	シニアステーションとしてフレイル予防に取り組み、延べ利用者数増を段階的に取り組みます	地域包括支援センターとの連携を強化します
		介護予防の普及と啓発を推進し、経年10%増を図ります
		元気維持や社会参加等にかかる事業を促進します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	法人内でシニア世代になっても安心して働き続けられる職場環境づくり	職員の適正配置を行います
		定期的な面談による課題の抽出を行います
		状況に合わせたマニュアル・分担の見直しを行います

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	ICT活用による地域共生社会の実現	配信を有効活用しサービス向上に繋がめます
		広報誌を毎月HPに掲載します
		ITリテラシー向上研修を行い、理解力を深めます

(3)年間計画(案)

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
健康体操	体操(300円/人 徴収)	4回/年
認知症予防体操	体操(300円/人 徴収)	4回/年
ストレッチ教室	体操(300円/人 徴収)	2回/月
姿勢改良	体操(300円/人 徴収)	2回/月
フレイル予防教室	フレイル予防教室の活動支援	1回/月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事業部門全体会議	法人経営の理解と情報共有	毎月
定例ミーティング	情報伝達、共有、業務改善検討	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防運動指導員研修	介護予防運動指導員資格の取得	1回/年
コンプライアンス	動画研修	1回/年
感染症	動画研修	1回/年
認知症	動画研修	1回/年
個人情報保護	動画研修	1回/年
緊急時対応	動画研修	1回/年
権利擁護	動画研修	1回/年
ハラスメント	動画研修	1回/年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
所内設備点検	建物内における防災設備確認・点検	1回/年
所内防災訓練	AED、応急救護等	1回/年
各地区に於ける防災拠点化訓練	町会・自治会が主催する防災訓練	各所で年1回

5-1. 大田区立特別養護老人ホームたまがわ 事業計画

(介護老人福祉施設:定員 237 名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護:定員 10 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	特養	短期
事業活動収入計①	1,045,532	54,593
事業活動支出計②	970,260	40,395
(人件費)	652,169	27,051
(事業費)	170,614	7,818
(事務費)	146,927	5,316
(その他費用)	550	210
事業活動収支差額 ③=①-②	75,272	14,198

年間目標利用率

特養 94.3 %

短期 151.3 %

合計 96.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	データに基づく顧客視点で のサービスの提供	業務構造の整理と業務の標準化を行います
		ICTを活用した科学的介護を実践します
		ショートステイのニーズ調査を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	帰属意識が高まる 職場環境の構築	持ち上げない介護等の実践による離職防止 計画を策定します
		計画的な人材育成を実施します
		ワークライフバランスの取れた働き方を実践し ます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの 向上	ICT活用による生産性の向 上	データの集積と共有できる環境を整備します
		ケアカルテを活用した利用者情報の一元化を 行います
		情報セキュリティマネジメントを実践します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
花見	多摩川土手での花見・園庭散策	4月
家族懇談会	家族と施設の意見交換	4月
ボランティア感謝の集い	感謝状贈呈、会食、園芸等	5月
端午の節句	菖蒲湯	5月
外気浴	園庭等散策	5月
あじさいコンサート	ボランティアグループ暖家主催	6月
公開講座	地域住民に向けた介護講座等	6月
利用者懇談会	ご利用者・施設との意見交換会	7月
流しそうめん	園庭での流しそうめん	7月
全国鶴の木祭り	地域行事への参加・協力	7月
サマーフェスタinたまがわ2022	地域交流祭り主催	8月
町会子供神輿	地域行事への参加	9月
敬老祝賀会	式典・会食・園芸等	9月
寿司の日	回転寿司実演、握り寿司提供	10月
外気浴	園庭等の散策	10月
ハロウィン	ボランティアグループ暖家主催	10月
もちつき	もちつき実演	11月
利用者懇談会	ご利用者・施設との意見交換会	12月
冬至	ゆず湯	12月
クリスマス	食事会実施	12月
元旦	大森囃子会による獅子舞	1月
新春コンサート	ボランティアグループ暖家主催	1月
節分	豆まき	2月
中華の日	中華料理による食事会の実施	2月
ひな祭り・お楽しみ会	食事会・演芸等	3月
作品展	利用者製作作品展示	3月
民謡	三味線演奏と利用者参加の歌唱	1回／月
お花	生け花を活けて施設内に飾る	1回／月
書道	書道に親しむ	1回／月
スイートボイス	ご利用者参加の合唱	1回／月
園芸	庭園の農作物の育成・収穫	1回／月
組紐	組紐のキーホルダーや小物づくり	2回／月

七宝	七宝焼きのアクセサリー等作成	2回／月
暖家	音楽を聴きながらの喫茶	1回／週
夢暖家	音楽を聴きながらのホームバー	1回／月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
事故防止対策	安全対策担当者を中心とした事故防止・再発防止に向けた取り組みの検証・実践	隔月・ 緊急時随時
権利擁護	高齢者の尊厳について全職員が考え、意識向上を図るための取り組みの検討・実践	隔月
安全衛生	職員の危険、健康障害を防止するための基本対策の検討実践	1回/月
広報	広報誌の作成・発行、ホームページの更新・管理	隔月
防災対策	・防災計画の作成・周知 ・防災訓練の企画・実施 ・防災物品・備蓄食料の管理	隔月
感染症対策	特養たまがわ建物内での感染症・食中毒の発症予防及び蔓延防止のための対策検討	隔月・ 緊急時随時
優先入所検討	大田区優先入所制度に基づく検討	2回/年
システム	記録システムの運用	隔月
身体的拘束適正化	身体的拘束ゼロに向けた取り組みの実践と進捗管理	隔月
医療ケア	安全な医療ケアの提供に向けた取り組みの検討・実践・進捗管理	4回/年
看取り介護	看取り体制整備と理解深化への取り組み	4回/年
褥瘡予防対策	褥瘡予防の基本体制整備	1回/月
物品購入	介護物品等の更新計画・実施	隔月
人財育成	職員育成体制の整備、検討	隔月
摂食指導	摂食・嚥下機能の維持に向けた取り組みの実践と進捗管理	隔月

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	・事業部門事業計画進捗管理 ・事業部門課題の協議、連絡調整 ・事業所の課題共有と相互支援 ・地域課題の共有、地域活動の検討、実践	1回/月
職員会議	経営方針、サービスに係る重要事項の伝達・情報共有・意見聴き取り	1回/月
チーフリーダー会議	事業経営・サービス運営の検討、決定、実践	1回/月
リーダー会議	サービス実務の協議	1回/月
フロアー会議	フロアー内における課題の協議	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
入職時研修	事業計画・規則・法令等の理解	4月
法令遵守・倫理	基準法令・職業倫理の基礎的理解	4月
感染症予防	感染症対策法定研修①	5月
看取り介護	看取り介護の理解	6月
身体的拘束	身体的拘束適正化法定研修①	7月
事故防止	事故防止法定研修①	8月
褥瘡予防	褥瘡予防対策	9月
感染症予防	感染症対策法定研修②(シミュレーション)	10月
身体的拘束	身体的拘束適正化法定研修②	11月
認知症	認知症のメカニズムと理解	12月
事故防止	事故防止法定研修②	1月
個人情報	規程等の理解と対応の共有	2月
権利擁護・ハラスメント	理念の理解と対応の共有・ハラスメント対策	3月
ノーリフティング研修	持ち上げない介護の推進(法人研修計画と連携)	通年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
施設内消防設備確認	新人・異動職員対象に消防設備確認	4月
BCP確認訓練	BCPの確認・非常食、医薬品等の備蓄確認	5月
水害想定訓練(日中) ※BCPシミュレーション	日中水害発生⇒初動対応・避難訓練	6月
水害対策訓練(夜間) ※BCPシミュレーション	夜間水害発生⇒初動対応・避難訓練	7月
地震想定訓練(日中) ※BCPシミュレーション	日中地震発生⇒初動対応・避難訓練	8月
地震想定訓練(夜間) ※BCPシミュレーション	夜間地震発生⇒初動対応・避難訓練	9月
火災想定訓練(日中) ※BCPシミュレーション	日中火災発生⇒避難・初期消火訓練	10月
火災想定訓練(夜間) ※BCPシミュレーション	夜間火災発生⇒避難・初期消火訓練	11月
夜間想定総合防災訓練	地震発生⇒火災発生⇒避難・初期消火 (地域住民連携)	12月
非常食実演訓練	非常食準備と試食	1月
救命救急訓練	AEDの使い方や救急時の対応	1月
消防設備実用訓練	消化器や消火栓の使用方法を学ぶ	2月
福祉避難所開設訓練	福祉避難所開設シミュレーション	3月
ご近所防災	近隣施設との地域における情報共有	4回/年

5-2. 大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター 事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 20 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計 ①	55,995	40,419
事業活動支出計 ②	50,440	29,271
(人件費)	36,955	22,664
(事業費)	6,812	3,395
(事務費)	6,673	3,212
(その他費用)	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	5,555	11,148

年間目標利用率
一般+総合 85.0 %

認知 75.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	第三者評価結果の活用によるサービスの充実	ご利用者の意向に沿い、興味・関心の持てるプログラムを構築します 職員間で理念・ビジョンを共有し、チームとして機能することでのサービス向上を図ります 令和4年度受審に向けた準備と、その結果を踏まえて次年度の取り組みに活かします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配分の仕組みづくり	ライフワークバランスの推進	年次有給休暇等、計画性を持った休暇の付与を行います 業務見直しによる超過勤務時間の縮減を推進します 時短勤務職員が安心して働くことのできる仕組み作りを構築します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
法人の価値を最大化するブランディング	ホームページ活用による戦略的広報の実現	ホームページ担当者の配置と運用の見直しを行います お知らせや行事案内等を定期的に更新し、事業所の特徴や価値を積極的に発信します ご利用者や他事業所等からの意見に耳を傾け、内容の充実に繋がります

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
お花見	桜を楽しむ	4月
ボランティア感謝の集い	感謝状贈呈、会食、演芸等	5月
端午の節句	しょうぶ湯を楽しむ	5月
運動会	軽運動と体力測定	6月
七夕・流しそうめん	笹飾り、園庭での流しそうめん	7月
すいか割	夏の風物を楽しむ	8月
サマーフェスタ	地域交流祭り	8月
敬老祝賀会	式典 長寿の祝い	9月
クリスマス会	食事とイベント	12月
ゆず湯	冬の始まりと年の瀬を感じる	12月
初詣	新しい年の幸せを祈願	1月
新年会	新年を祝う	1月
節分	豆まき 季節行事を楽しむ	2月
ひな祭り	春の訪れを喜び季節を感じる	3月
家族懇談会	家族との意見交換	1回/年
利用者懇談会	利用者との意見交換	1回/年
外出訓練	避難訓練を兼ねた外出	1回/月
公開講座	地域住民向けの公開講座	1回/年
調理実習	利用者と調理を楽しむ	4回/年
皆勤賞祝賀会	皆勤を祝う	1回/年
ボランティアお礼等	お茶、菓子	通年
作品展	利用者製作品展示	3月
コーヒータイム	職員と利用者の交流	1回/月
名称	内容等	開催時期・頻度
七宝クラブ	講師による七宝教室	1回/月
折り紙	ボランティアによる折り紙教室	1回/月
園芸クラブ(苗、土、肥料代)	ボランティアによる園芸	1回/月
音楽療法	講師による音楽療法	1回/月
書道クラブ(半紙・墨汁・筆)	講師による書道教室	1回/月
パンフラワー	講師によるパンフラワー教室	1回/月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	事業部門内の情報共有・課題検討	1回/月
在宅会議	デイサービス運営に関する必要事項の協議	1回/月
カンファレンス	通所介護計画書作成・更新	1回/月
食事委員会	栄養士と食事に関する検討	1回/月
権利擁護委員会(☆特養合同)	高齢者の尊厳について理解を深め、意識向上	隔月
☆事故防止対策委員会	事故防止、再発防止に向けた取り組みの検証、実践	隔月・随時
☆身体拘束等適正化委員会	身体的拘束ゼロに向けた取り組みの実践と進捗管理	隔月・随時
☆感染症対策委員会	感染症、食中毒の発症予防及び蔓延防止のための対策検討	隔月・随時
広報委員会(★併設事業所合同)	広報誌の作成、発行、ホームページの更新、管理	隔月
★防災対策委員会	防災計画の作成、周知 防災訓練の企画、実施 防災物品、備蓄食料の管理 事業継続計画の運用に関する検討	隔月
★安全衛生委員会	職員の危険、健康障害を防止するための基本対策の検討、実施	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
法令遵守、倫理	介護従事者として必要な基本的な法律や倫理観を身につける 基準法令、職業倫理の基礎的理解	1回/年
権利擁護研修	高齢者の尊厳について理解を深め意識向上を図る 理念の理解と対応の共有	1回/年
個人情報、プライバシー保護	社会人、介護従事者として必要な知識を身につける 基準法令の基礎的理解	1回/年
身体拘束	身体拘束に関する基礎的理解を深める	1回/年

認知症	認知症ケアに関する知識向上	1回/年
感染症対策	感染症の発生予防と蔓延防止のための体制構築	1回/年
事故防止	事故発生の予防と発生時の対応について	1回/年
業務継続計画	感染症や非常災害の発生時における事業継続、事業再開についての体制整備	1回/年
虐待の防止	虐待の未然防止、虐待等の早期発見、虐待等への迅速かつ適切な対応の整備	1回/年
虐待の防止	虐待の未然防止、虐待等の早期発見、虐待等への迅速かつ適切な対応の整備	1回/年
ノーリフティング研修	持ち上げない介護の推進(法人研修計画と連携)	通年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
避難訓練	消防計画、事業継続計画に基づく訓練 (特別養護老人ホームたまがわに準ずる)	随時

5-3. 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター 事業計画

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所:定員 45 名)

(認知症対応型通所介護事業所認知症対応型通所介護事業所・介護予防:定員 12 名)

(1)事業方針

- ・基幹事業における安定した収益の確保
- ・利用者の尊厳保持・自立支援の視点に立った個別ケアの確立
- ・チームケア(多職種連携)を主体とした職場づくり

(2)予算概要

(千円)

勘定科目	一般+総合	認知
事業活動収入計 ①	76,920	44,203
事業活動支出計 ②	89,360	23,650
(人件費)	67,728	17,999
(事業費)	12,707	3,284
(事務費)	8,925	2,367
(その他費用)	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	-12,440	20,553

年間目標利用率
一般+総合 75.0 %

認知 65.0 %

(3)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	プログラム効果の見える化	ご利用者のプログラムニーズを調査します
		ニーズに沿ったプログラムの在り方を検討します
		プログラムの効果を測定・評価します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
人的資源の適正配分の仕組みづくり	役割に応じた職員の適正配置	各職員能力に合わせた事業配置を行います
		ソーシャルワークの視点をもった人材育成に取り組みます
		各研修を計画・実施します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	情報の見える化と価値向上	ミルモネット・HPを毎月更新し、常に新しい情報を伝えます
		情報共有システムを活用し、他職種や他事業所との部門内連携を実現します
		パソコンに慣れていない職員に研修を実施し記録入力スキルアップを促進します

(4)年間計画

①行事・クラブ活動計画書

名称	内容等	開催時期・頻度
外出訓練	課外活動	通年
クッキング	在宅でつくることのできるクッキング	通年
ホーム喫茶	利用者との交流及びご本人の意向を伺う場	通年
体力等測定	体力、認知力等の測定	5.11月
運動会	運動レクリエーション	6月
七夕	季節行事	7月
納涼祭	季節行事、地域交流	8月
敬老会	敬老祝賀、レクリエーション	9月
ハロウィン	季節行事、地域交流	10月
HOPEサロン	若年性認知症関係者との懇談会	10.3月
芸術祭	手工芸、折り紙、書道、絵手紙等作品展	11月
歳忘れの集い	季節行事	12月
新年祝賀会	季節行事	1月
節分、豆まき	季節行事	2月
ひなまつり、花見	季節行事	3月
花見	季節行事	4月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	事業部門内の情報共有・課題検討	1回/月
リスクマネジメント委員会	事故対策、法令順守、リスク管理検討	1回/月
プログラム検討委員会	プログラムの検討、見直し(外出訓練含)	随時
研修計画委員会	研修企画、実施	随時
職員会議	運営に関わる重要事項伝達・協議・共有化	1回/月
行事担当者会議	行事内容の検討、企画、実施	1回/月・行事前
ソーシャルワーク会議	目標達成に向けた進捗管理及び対策検討	随時
権利擁護・虐待防止委員会	権利擁護、虐待防止の実態確認、研修企画	3回/年
広報委員会	事業所広報企画、実施	必要時
ボランティア委員会	ボランティア受入、調整、連携	必要時
親睦委員会	職員の親睦に関する企画、運営	必要時

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
感染症予防研修	感染症予防、基礎対処方法等	1回/年以上
法令順守、制度改正研修	運営基準、制度改正等	必要時
権利擁護、虐待研修	権利擁護、虐待予防	1回/年以上
ソーシャルワーク研修	ソーシャルワーク技術、施設運営	随時
介護事故予防、介護基礎研修	介護事故、介護基礎	随時

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
労働安全衛生委員会	職員の健康管理に関する施策の協議、検討	1回/月
感染症対策委員会	感染症の予防・拡大防止対策検討、研修等	1回/月
防災対策委員会	防災体制作成、防災訓練計画・企画・実施	随時
防災緊急継走訓練	緊急時の連絡	4～5月
防災設備、消火器、備蓄確認訓練	防災設備、消火器、備蓄確認訓練	6月
防災消火器訓練	防災消火器訓練	8月
防災避難誘導訓練	地震避難	9月
防災避難誘導訓練	洪水合同避難誘導訓練(垂直避難)	10月
緊急・救急時連絡、不審者対応訓練	緊急・救急時連絡、不審者対応訓練	12月
AED操作・心臓マッサージ訓練	AED操作・心臓マッサージ訓練	2月
ご近所防災	近隣施設との地域における情報共有	4回/年
ノーリフティング研修	持ち上げない介護の推進(法人研修計画と連携)	通年

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	区民のフレイル予防	在宅でできる体操プログラムを提供します
		介護予防教室が交流の場になるようにします

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	職員の職務遂行能力が高ま る労働環境の推進	常に新しい情報を取り入れ、体操に活かしま す
		他の職員にも介護予防体操スキルが伝わるよ うに伝達をしていきます

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの 向上	情報の見える化	・介護予防教室の受付のマニュアルを作成し ます
		・介護予防体操当日の行動マニュアルを作成 します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
いきいきシニア体操事業(75歳以上)	75歳以上の方を対象とした体力に自信のない方でも安心して参加できる体操教室	通年
いきいきシニア体操事業(60分)	認知症予防や転倒予防を目的とした椅子に座った状態で行う体操教室	通年
認知症予防体操	認知症の予防、転倒予防、生活習慣病の予防改善に効果のある体操等	通年

②委員会・会議

大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンターに準ずる

③研修

大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンターに準ずる

④安全管理、防災対策、訓練等

大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンターに準ずる

5-5. 大田区地域包括支援センターたまがわ 事業計画

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	包括評価指標を活用した機能強化と業務の効率化	全職員が国の評価指標を再確認し理解します
		評価指標による業務の振り返りと実践を行います
		職員からの提案による業務改善を行います

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	チームワークによる連携・協働と各職種の専門性の発揮	情報共有によるチームアプローチを実践します
		チームで支援方針を決定し共有を図ります
		各職種の強みを生かした連携と協働を推進します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	情報の見える化による活用・データやさまざまな情報を活用した支援体制の構築	社会資源を活用した支援を行います
		地域課題の見える化と必要な資源の発掘を行います
		活用しやすい情報管理を行います

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
オレンジカフェつながる「たまがわ」	認知症サポート医によるミニレクチャー、シナプソロジーエクササイズ等の実施	1回/月
千鳥サロン	介護予防体操等の実施	1回/月
都営アパート つながるサロン	出張相談会等の実施	1回/月
元気ハツラツ！ささえあい体操クラブ	自主グループの開催支援	1回/月
ちどり健康体操	ちどり交友会(シニアクラブ)との共催による介護予防体操等の実施	1回/月
鵜の木ふれあい元気塾	鵜の木二丁目町会、鵜の木三丁目町会、鵜の木特別出張所との連携	1回/月
千鳥ふれあい元気塾	千鳥北町会、千鳥南町会、鵜の木特別出張所との連携	1回/月
もみじふれあい元気塾	鵜の木西町会、鵜の木東町会、南久が原一丁目町会、鵜の木特別出張所との連携	1回/月
鵜の木地区高齢者ふれあいフェスタ	鵜の木ふれあい元気塾、千鳥ふれあい元気塾、もみじふれあい元気塾による合同イベント	1回/年 3月頃
喜楽会	シニアクラブ活動の支援	1回/月
まちゼミ久が原	久が原まちゼミ実行委員会主催イベント	1回/月
全国鵜の木祭り	鵜の木銀嶺商店会主催イベント	1回/年7月頃
たまがわポールウォーキング	自主グループの開催支援	1回/月
オレンジカフェちどり	特別養護老人ホームケアホーム千鳥によるオレンジカフェとの連携	1回/月
鵜の木サロン 暮らしの保健室	ワークスタッフ鵜の木との連携	1回/月
生き生きシニアポールウォーキング	自主グループの開催支援	不定期開催
認知症サポーター養成講座	認知症の啓発	1～3回/年程度
地域包括ケアの会	田園調布医師会在宅医療相談窓口との連携による医療・介護の連携の場	1回/年
個別レベル地域ケア会議	個別課題の解決、地域課題の抽出、介護支援専門員の資質向上	6回/年以上
日常生活圏域レベル地域ケア会議	多様な視点からの課題解決や社会資源開発、ネットワーク構築	2回/年
介護支援専門員 研修会(仮)	管轄地域の介護支援専門員向け研修会	1回/年

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	事業部門内の情報共有・課題検討	1回/月
包括会議	業務検討等	1回/月
包括所長会	公益事業等における適切な事業執行体制の構築、地域共生社会の実現に向けた事業展開について協議	1回/月
		1回/月
見守りささえあいコーディネーター連絡会	ガバナンスに基づき、職務の専門性発揮における諸課題について協議	1回/月
		1回/月
認知症地域支援推進員連絡会	ガバナンスに基づき、職務の専門性発揮における諸課題について協議	1回/月
		1回/月
調布地域福祉課 包括連絡会	地域福祉課と地域包括支援センターとの連絡会	1回/月
		1回/月
調布地域福祉課 介護支援専門員運営委員会	調布地区の介護支援専門員連絡会の運営	1回/月
		1回/月
調布地域福祉課 看護師連絡会	調布地区の地域包括支援センター保健師・看護師等の連絡会	隔月
調布地区見守りささえあいコーディネーター連絡会	調布地区の見守りささえあいコーディネーター、地域福祉コーディネーター等の連絡会	1回/月
鵜の木地区地域力推進委員会	町会や地域との連携	1回/月
民生委員児童委員協議会	地域の民生委員との連携	1回/月
地域密着型運営推進会議	地域密着型事業所との連携	グループホーム 3か所 デイサービス 7か所 小規模多機能 1か所
権利擁護委員会(☆特養合同)	高齢者の尊厳について理解を深め、意識向上	隔月
広報委員会(★併設事業所合同)	広報誌の作成、発行、ホームページの更新、管理	隔月
★防災対策委員会	防災計画の作成、周知 防災訓練の企画、実施 防災物品、備蓄食料の管理 事業継続計画の運用に関する検討	隔月
★安全衛生委員会	職員の危険、健康障害を防止するための基本対策の検討、実施	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
養護者による高齢者虐待対応基礎研修	虐待対応研修	5月
精神保健福祉研修	精神疾患等の支援に関する研修	2回/年
地域連携を支える人材育成研修	高齢福祉課主催による人材育成研修	1回/年
認知症地域支援推進員現任者研修	認知症地域支援推進員 研修	1回/年
大田区介護支援専門員全体研修	介護支援専門員向け研修	3～4回/年
権利擁護テーマ別実践研修	高齢者の権利擁護に関わる研修	2回/年
東京都認知症対応力向上研修	認知症に関わる研修	1回/年
大田区介護保険事業者等研修	介護保険事業者向け研修	3～4回/年
東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	地域包括支援センター職員研修	1回/年
高齢者虐待対応研修	大田区による虐待対応研修	2回/年
地域包括支援センター管理者向け研修	大田区による管理者研修	1回/年
総合事業 事業者研修	大田区による総合事業に関する研修	1回/年
キャラバンメイト養成研修	キャラバンメイト取得のための研修	1回/年
主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員資格更新研修	10回/年
令和3年度認知症ケア研修	法人による認知症研修	5・7・9月

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	BCP(事業継続計画)に基づく訓練 (特別養護老人ホームたまがわに準ずる)	随時
東調布第三小学校学校 学校防災拠点訓練	鵜の木西町会、鵜の木東町会の学校防災拠点訓練	1回/年 11月頃
大森第七中学校 学校防災拠点訓練	南久が原一丁目町会、千鳥北町会の学校防災拠点訓練	1回/年 12月頃
嶺町小学校 学校防災拠点訓練	鵜の木二丁目町会、鵜の木三丁目町会の学校防災拠点訓練	1回/年 11月頃
千鳥南町会防災訓練	千鳥南町会の防災訓練	1回/年 12月頃

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	大田区に特化した相談窓口として独自機能の分析、検証	相談状況等からの多角的な検証を実践します
		地域別における実態調査を行います
		関係機関との協働作業を通じた成果物を作成します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	適正業務の標準化を推進、自身のマネジメント能力向上	業務(職務分掌)の標準化を行います
		特養、包括等との連携、支援促進及び検証を実践します
		業務執行管理能力の向上を目指します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	相談者の利便性、当事者や家族の活動が広がる支援	オンラインを活用した相談、研修等を開催します
		広域連携の推進及び社会資源を開拓します
		大田モデルの啓発活動を推進します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
家族会定例会の開催	介護者(支援者)のコミュニティの提供	1回/月
本人ミーティングの開催	当事者同士のコミュニティの提供	1回/月
若年認知症セミナー開催	区民向けセミナー	随時
家族会イベントの開催	区民向けの啓発イベント	3回/年

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	事業部門内の情報共有・課題検討	1回/月
包括等所長会議	事業執行に関する情報共有・協議	1回/月
広報委員会(★併設事業所合同)	広報誌、ホームページなどの検討・協議	随時
防災対策委員会(★)	防災に関する協議、訓練などの実施	随時
安全衛生委員会(★)	職員の健康等に関する対策・検討	1回/月
若年認知症カンファレンス(HOPE)	若年認知症支援に関する検討	1回/月
若年支援会議(HOPE合同)	若年認知症事業運営に関する情報共有等	1回/月
若年性認知症支援連携会議	区、東邦大学と医療福祉に関する検討	1回/月
区コーディネーター会議	区事業進捗に関する情報共有、課題検討	2回/年・随時
全国若年認知症支援協議会定例会	全国フォーラム開催、課題共有等	4回/年
東京栄和会(江戸川)情報交換会	通所・相談事業に関する検討・協議	1回/月
広域支援連携会議	事例検討、案件協議(横浜市・川崎市合同)	隔月・随時
ソーシャルワーク会議	目標達成に向けた進捗管理及び対策検討	随時

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
フォローアップ研修	コーディネーター対象の更新研修	1回/年
都若年性認知症支援者研修	都窓口主催の支援者向け事例検討会	2回/年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
防災訓練	BCP(事業継続計画)に基づく訓練 (特別養護老人ホームたまがわに準ずる)	随時

5-7. 大田区地域包括支援センター田園調布 事業計画

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域力の活性化	災害時に備える地域づくりを推進します
		多種多様な通いの場を創出します
		地域ケア会議を活用した医療・介護・住民との 連携強化を実践します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
キャリアデザインの推 進	大田区ケアマネジメント指針 及び事業所研修計画を基に した研修計画の策定と共有	チームアプローチを強化します
		各役割と専門性を強化します
		個別レベル会議を通じた地域課題の発見と解 決を行います

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	介護サービスの充実と医療・ 介護の連携	地域一体になりスマホの普及を図ります
		リモート会議、勉強会等を実施します
		記録の効率化と業務改善を行います

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
元気シニアプロジェクト	地域と協働した多世代活動	1回/年
ミンジーカフェ	民生委員と共催で高齢者の見守り活動	1回/年
シニア食堂	町会婦人部や民生委員などのボランティアと協力して行うフレイル予防活動	6回/年
グリーンフェスタ実行委員会	『田園調布グリーンフェスタ』の開催に向けた実行委員会への協力	4月～10月
シニアクラブ支援	管内3クラブの活動支援	各1回/月
熱中症予防訪問	民生委員の熱中症予防訪問へ同行し地域の情報共有を行う	1回/年
パトロール活動・夜警	各自治会の年末パトロールへの挨拶と協力	1回/年
認知症サポーター養成講座	多くの住民が参加し認知症の理解を拡げるため開催場所や日程を工夫して開催する	3回/年
オレンジカフェ	認知症の当事者でも気軽に参加できる地域の居場所づくりを行う	1回/月
小学校サマースクール	管内2か所にある小学校のサマースクールへ参加し高齢者の理解を拡げる	2～3回/年
フレイル予防教室	『ほっと大田』フレイル予防教室の活動支援	1回/月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
たまがわ事業部門運営会議	事業部門内の情報共有・課題検討	1回/月
地域包括ケアの会実行委員会	田園調布医師会医療連携室、包括嶺町、医療・介護事業者と連携を深める	1回/月
民生委員児童委員協議会	民生児童委員との情報の共有	1回/月
地域力推進会議	自治会連合会や関係機関との情報共有	1回/月
見守りささえあいコーディネーター連絡会(法人・区)	地域づくりについての情報交換と資質向上	1回/月
認知症地域支援推進員連絡会(法人・区)	認知症のネットワークづくりのための情報交換と資質向上	1回/月
調布地域福祉課 包括連絡会	地域福祉課との情報交換と検討	1回/月
調布地域福祉課 介護支援専門員運営委員会	地域のケアマネジャーの質の向上	1回/月
調布地域福祉課 看護師連絡会	包括と区の看護・保健師の情報交換	1回/月
包括内ミーティング	事業の進捗管理と改善の検討など	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
高齢者虐待対応研修	大田区虐待対応研修	2回/年
大田区地域包括支援センター職員研修	包括新任・現任者向けに分けて開催	1回/年
大田区介護保険事業者等研修	介護保険事業者向けの研修	2回/年
権利擁護テーマ別実践研修	権利擁護に関するテーマ別研修	2回/年
総合事業事業者研修	大田区総合事業に関する研修	1回/年
地域ケア会議実践者養成研修	地域ケア会議の実践のための研修	1回/年
地域包括支援センター管理者研修	包括管理者の資質向上の研修	1回/年
東京都精神保健研修	精神疾患への対応力向上	4回/年
大田区居住支援研修	居住支援に関する情報提供	1回/年
キャラバンメイト養成研修	キャラバンメイト取得	1回/年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
特別出張所合同防災訓練	出張所と合同の防災訓練	1回/年
学校防災拠点訓練	管内3か所の拠点訓練への参加	各2回/年

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
新しい生活様式を踏 まえたサービス提供 体制の構築	地域における包括的な 支援体制の構築	フレイル予防の普及を図ります
		元気維持や社会参加にかかる事業を促進します
		多世代交流事業の実施を推進します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財 の育成	法人職員としての 関わりの強化	業務改善を意識したミーティングを実施します
		幅広い分野の研修計画と実施を実現します
		積極的に職員によるプログラムを実施します

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
ICTの活用	地域活動の充実	高齢者のスマホスキル向上に取り組めます
		ICTを活用したプログラムを実践します
		ICTを活用した情報を発信します

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
一般介護予防体操	大田区主催体操	3日/週
自主活動(8団体) 支援	体操・文科 活動(ヨガ、ストレッチ、習字、朗読 等)	隔週
虹サロン	シニアクラブと開催する各種プログラム	月4回/月
地元自治会主催の活動支援	夏の子供会や秋の祭事(ハロウィン 等)	2～3回/年
筆の会	習字(500円/人 徴収)	2回/月
硯の会	習字(500円/人 徴収)	2回/月
ロコモン体操	体操(300円/人 徴収)	2回/月
健幸体操	体操(300円/人 徴収)	2回/月
姿勢改良体操	体操(300円/人 徴収)	2回/月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
スタッフミーティング	情報共有、業務改善検討	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防運動指導員研修	介護予防運動指導員資格の取得	1回/年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
春、秋の交通安全・防災	看板、幟の設置、見守り活動の中継基地	随時
所内設備点検		1回/年
所内防災訓練	AED、応急救護等	1回/年

(1)事業方針

- ・地域共生社会実現のため、池上長寿園モデル(包摂・共生型地域づくり)の構築
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の仕組みづくり

(2)【重点課題に対する推進項目と取り組み内容】

①利用者満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
事業種別・職能別成果・評価指標の構築	シニアステーションとしてフレイル予防に取り組み、延べ利用者数を前年度比110%に設定	地域包括支援センターとの連携を強化します
		介護予防の普及と啓発を推進します
		元気維持や社会参加等にかかる事業を促進します

②職員満足度の向上

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
未来を紡ぐ経営人財の育成	法人内でシニア世代になっても安心して働き続けられる職場環境づくり	配置を安定させます
		定期的な面談による課題の抽出を行います
		状況に合わせたマニュアル・分担の見直しを行います

③働き方改革の推進

推進項目	KPI (指標)	具体的取り組み
情報リテラシーの向上	ICT活用による地域共生社会の実現	配信を有効活用しサービス向上に繋がります
		広報誌を毎月HPに掲載します
		ITリテラシー向上研修を行い、理解力を深めます

(3)年間計画

①活動等

名称	内容等	開催時期・頻度
関節しなやか体操	体操(300円/人 徴収)	4回/年
健康寿命	体操(300円/人 徴収)	4回/年
足から元気の出る教室	体操(300円/人 徴収)	2回/月
姿勢改良	体操(300円/人 徴収)	2回/月
フレイル予防教室	『ほっと大田』フレイル予防教室の活動支援	1回/月

②委員会・会議

名称	内容等	開催時期・頻度
定例ミーティング	情報伝達、共有、業務改善検討	1回/月

③研修

名称	内容等	開催時期・頻度
介護予防運動指導員研修	介護予防運動指導員資格の取得	1回/年
コンプライアンス	動画研修	1回/年
感染症	動画研修	1回/年
認知症	動画研修	1回/年
個人情報保護	動画研修	1回/年
緊急時対応	動画研修	1回/年
権利擁護	動画研修	1回/年
ハラスメント	動画研修	1回/年

④安全管理、防災対策、訓練等

名称	内容等	開催時期・頻度
所内設備点検		1回/年
所内防災訓練	AED、応急救護等	1回/年